経　済　学　部

【経済学部経済学科科目一覧を見る時の注意事項】

科目一覧を見る前に必ず読んで下さい。

＊1999年度以前入学の学生は科目名称が1999年度までの科目名称と変更になっているものがあるので、**新旧カリキュラム対照表**をよく見ること。

2000年度以降入学の学生の指定年次に対応している。
1999年度以前入学の学生は、年次が違う科目があるので、**履修要項（別冊）、講義概要の年次欄**を参照すること。

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
選択必修科目						
514	経済史入門A	春学期	2	2	櫻井　健吾	99生以前は選択科目
514	経済史入門B	秋学期	2	2	川﨑　勝	

表内の**必修科目、選択必修科目、選択科目、自由科目**などの科目分類の表記は、2000年度以降入学の学生に対応している。
1999年度以前入学の学生は、備考欄の科目分類を参照すること。

1999年度以前入学の学生は、備考欄の科目分類表記を参照して授業登録をすること。

経済学部経済学科　科目一覧

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
必修科目						
51101	ミクロ経済学	春学期	4	1	水谷　重秋	
51102	ミクロ経済学	春学期	4	1	井上　知子	
51111	マクロ経済学	秋学期	4	1	荒井　好和	
51112	マクロ経済学	秋学期	4	1	宮澤　和俊	
51121	データ処理入門1	春学期	2	1	近藤　仁	
51122	データ処理入門2	春学期	2	1	吉根　勝美	
51123	データ処理入門3	春学期	2	1	吉根　勝美	
51124	データ処理入門4	春学期	2	1	中村　正治	
51125	データ処理入門5	秋学期	2	1	近藤　仁	
51126	データ処理入門6	秋学期	2	1	吉根　勝美	
51127	データ処理入門7	秋学期	2	1	吉根　勝美	
51128	データ処理入門8	秋学期	2	1	中村　正治	
51131	経済学のための数学1	春学期	2	1	吉本　佳生	
51132	経済学のための数学2	春学期	2	1	吉本　佳生	
51141	経済演習Ⅰ	通年	4	1	野村　信廣	
51142	経済演習Ⅰ	通年	4	1	水谷　重秋	
51143	経済演習Ⅰ	通年	4	1	花井　敏	
51144	経済演習Ⅰ	通年	4	1	中矢　俊博	
51145	経済演習Ⅰ	通年	4	1	近藤　仁	
51146	経済演習Ⅰ	通年	4	1	岸　智子	
51147	経済演習Ⅰ	通年	4	1	上田　薫	
51148	経済演習Ⅰ	通年	4	1	林　尚志	
51149	経済演習Ⅰ	通年	4	1	宮澤　和俊	
51150	経済演習Ⅰ	通年	4	1	唐澤　幸雄	
51151	経済演習Ⅰ	通年	4	1	井上　知子	
51161	経済演習Ⅱ	通年	4	2	水谷　重秋	
51162	経済演習Ⅱ	通年	4	2	櫻井　健吾	
51163	経済演習Ⅱ	通年	4	2	村松　久良光	

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
51164	経済演習Ⅱ	通年	4	2	荒井 好和	
51165	経済演習Ⅱ	通年	4	2	山田 正次	
51166	経済演習Ⅱ	通年	4	2	大谷津 晴夫	
51167	経済演習Ⅱ	通年	4	2	宮澤 和俊	
51168	経済演習Ⅱ	通年	4	2	吉根 勝美	
51169	経済演習Ⅱ	通年	4	2	唐澤 幸雄	
51170	経済演習Ⅱ	通年	4	2	井上 知子	
51181	経済演習Ⅲ	通年	4	3	川﨑 勝	
51182	経済演習Ⅲ	通年	4	3	野村 信廣	
51183	経済演習Ⅲ	通年	4	3	櫻井 健吾	
51184	経済演習Ⅲ	通年	4	3	花井 敏	
51185	経済演習Ⅲ	通年	4	3	荒井 好和	
51186	経済演習Ⅲ	通年	4	3	山田 正次	
51187	経済演習Ⅲ	通年	4	3	中矢 俊博	
51188	経済演習Ⅲ	通年	4	3	近藤 仁	
51189	経済演習Ⅲ	通年	4	3	大谷津 晴夫	
51190	経済演習Ⅲ	通年	4	3	岸 智子	
51191	経済演習Ⅲ	通年	4	3	阪本 俊生	
51192	経済演習Ⅲ	通年	4	3	上田 薫	
51193	経済演習Ⅲ	通年	4	3	加藤 尚史	
51194	経済演習Ⅲ	通年	4	3	林 尚志	
51195	経済演習Ⅲ	通年	4	3	吉根 勝美	
51201	経済演習Ⅳ	通年	4	4	川﨑 勝	
51202	経済演習Ⅳ	通年	4	4	野村 信廣	
51203	経済演習Ⅳ	通年	4	4	水谷 重秋	
51204	経済演習Ⅳ	通年	4	4	櫻井 健吾	
51205	経済演習Ⅳ	通年	4	4	花井 敏	
51206	経済演習Ⅳ	通年	4	4	村松 久良光	
51207	経済演習Ⅳ	通年	4	4	荒井 好和	
51208	経済演習Ⅳ	通年	4	4	山田 正次	

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
51209	経済演習Ⅳ	通年	4	4	中矢 俊博	
51210	経済演習Ⅳ	通年	4	4	近藤 仁	
51211	経済演習Ⅳ	通年	4	4	大谷津 晴夫	
51212	経済演習Ⅳ	通年	4	4	阪本 俊生	
51213	経済演習Ⅳ	通年	4	4	上田 薫	
51214	経済演習Ⅳ	通年	4	4	加藤 尚史	
51215	経済演習Ⅳ	通年	4	4	林 尚志	
選択必修科目						
51401	現代経済入門1	春学期	2	1~4	野村 信廣	99生以前は履修不可
51402	現代経済入門2	秋学期	2	1~4	野村 信廣	99生以前は履修不可
51411	経済史入門A	春学期	2	1~4	櫻井 健吾	99生以前は選択科目
51421	経済史入門B	秋学期	2	1~4	川﨑 勝	99生以前は選択科目
51431	経済思想入門	秋学期	2	1~4	大谷津 晴夫	99生以前は選択科目
51441	経済統計入門1	春学期	2	1~4	荒深 美和子	99生以前は選択科目
51442	経済統計入門2	秋学期	2	1~4	荒深 美和子	99生以前は選択科目
選択科目						
51601	経済英語Ⅰ 1	春学期	2	2~4	EASLEY Keith	99生以前は選択必修科目
51602	経済英語Ⅰ 2	春学期	2	2~4	TANNER Paul	99生以前は選択必修科目
51603	経済英語Ⅰ 3	春学期	2	2~4	MANSELL William	99生以前は選択必修科目
51604	経済英語Ⅰ 4	春学期	2	2~4	MUNCADA Felipe	99生以前は選択必修科目
51611	経済英語Ⅱ 1	秋学期	2	2~4	EASLEY Keith	99生以前は選択必修科目
51612	経済英語Ⅱ 2	秋学期	2	2~4	TANNER Paul	99生以前は選択必修科目
51613	経済英語Ⅱ 3	秋学期	2	2~4	MANSELL William	99生以前は選択必修科目
51614	経済英語Ⅱ 4	秋学期	2	2~4	MUNCADA Felipe	99生以前は選択必修科目
51621	ビジネス英語Ⅰ 1	春学期	2	2~4	TANNER Paul	99生以前は選択必修科目
51622	ビジネス英語Ⅰ 2	春学期	2	2~4	EASLEY Keith	99生以前は選択必修科目
51623	ビジネス英語Ⅰ 3	春学期	2	2~4	MANSELL William	99生以前は選択必修科目
51624	ビジネス英語Ⅰ 4	春学期	2	2~4	松井 清治	99生以前は選択必修科目
51631	ビジネス英語Ⅱ 1	秋学期	2	2~4	TANNER Paul	99生以前は選択必修科目
51632	ビジネス英語Ⅱ 2	秋学期	2	2~4	EASLEY Keith	99生以前は選択必修科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
51633	ビジネス英語Ⅱ 3	秋学期	2	2～4	MANSELL William	
51634	ビジネス英語Ⅱ 4	秋学期	2	2～4	松井 清治	
51641	時事英語Ⅰ	春学期	2	2～4	森川 信子	
51651	時事英語Ⅱ	秋学期	2	2～4	森川 信子	
51661	外書講読（理論と情報）A	春学期	2	2～4	唐澤 幸雄	99生以前は選択必修科目
51663	外書講読（理論と情報）B	秋学期	2	2～4	唐澤 幸雄	
51665	外書講読（政策）A	春学期	2	2～4	水谷 重秋	
51666	外書講読（政策）A	春学期	2	2～4	大谷津 晴夫	
51667	外書講読（政策）B		2	2～4		本年度不開講
51671	外書講読（国際）A	春学期	2	2～4	薮内 繁巳	
51672	外書講読（国際）A	春学期	2	2～4	山田 正次	99生以前は選択必修科目
51673	外書講読（国際）B	秋学期	2	2～4	薮内 繁巳	
51674	外書講読（国際）B	秋学期	2	2～4	山田 正次	
51675	外書講読（歴史と思想）A		2	2～4		本年度不開講
51677	外書講読（歴史と思想）B		2	2～4		本年度不開講
51681	計量経済学Ⅰ	春学期	2	2～4	近藤 仁	
51683	計量経済学Ⅱ	秋学期	2	2～4	近藤 仁	
51685	経済統計論Ⅰ	春学期	2	2～4	野村 信廣	
51687	経済統計論Ⅱ	秋学期	2	2～4	野村 信廣	
51691	理論経済学Ⅰ		2	2～4		本年度不開講
51693	理論経済学Ⅱ		2	2～4		本年度不開講
51695	情報経済学Ⅰ		2	2～4		本年度不開講
51697	情報経済学Ⅱ		2	2～4		本年度不開講
51701	データ解析Ⅰ	春学期	2	2～4	吉根 勝美	
51703	データ解析Ⅱ	秋学期	2	2～4	吉根 勝美	
71733	オペレーションズ・リサーチA	春学期	2	2～4	穴太 克則	
71735	オペレーションズ・リサーチB	夏期集中	2	2～4	穴太 克則	
51711	特別テーマ講義（理論と情報）A	秋学期	2	2～4	上田 薫	
51713	特別テーマ講義（理論と情報）B	秋学期	2	2～4	上田 薫	
51715	経済政策論Ⅰ		2	2～4		本年度不開講

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
51717	経済政策論Ⅱ		2	2～4		本年度不開講
51721	経済変動論Ⅰ		2	2～4		本年度不開講
51723	経済変動論Ⅱ		2	2～4		本年度不開講
51725	日本経済論A	春学期	2	2～4	花井　敏	
51727	日本経済論B	秋学期	2	2～4	花井　敏	
51731	財政学Ⅰ	春学期	2	2～4	石田　昌夫	
51733	財政学Ⅱ	秋学期	2	2～4	石田　昌夫	
51735	金融論Ⅰ	春学期	2	2～4	荒井　好和	
51737	金融論Ⅱ	秋学期	2	2～4	荒井　好和	
51741	労働経済学Ⅰ	春学期	2	2～4	岸　智子	
51743	労働経済学Ⅱ	秋学期	2	2～4	岸　智子	
51745	公共経済学Ⅰ	春学期	2	2～4	黒田　達朗	
51747	公共経済学Ⅱ	秋学期	2	2～4	黒田　達朗	
51751	産業組織論A	秋学期	2	2～4	上田　薫	
51753	産業組織論B	秋学期	2	2～4	上田　薫	
51755	社会保障論A		2	2～4		本年度不開講
51757	社会保障論B		2	2～4		本年度不開講
51761	特別テーマ講義（政策）A	夏期集中	2	2～4	倉澤　資成	
51763	特別テーマ講義（政策）B		2	2～4		本年度不開講
51765	国際経済学Ⅰ	春学期	2	2～4	山田　正次	
51767	国際経済学Ⅱ	秋学期	2	2～4	山田　正次	
51771	開発経済学Ⅰ	春学期	2	2～4	林　尚志	
51773	開発経済学Ⅱ	秋学期	2	2～4	林　尚志	
51775	国際金融論Ⅰ	春学期	2	2～4	吉本　佳生	
51777	国際金融論Ⅱ	夏期集中	2	2～4	吉本　佳生	
51781	国際経済政策論Ⅰ	春学期	2	2～4	POTTER David M.	
51783	国際経済政策論Ⅱ	秋学期	2	2～4	POTTER David M.	
51785	アジア経済論Ⅰ		2	2～4		本年度不開講
51787	アジア経済論Ⅱ		2	2～4		本年度不開講
51791	アメリカ経済論Ⅰ	夏期集中	2	2～4	辻　正次	

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
51793	アメリカ経済論Ⅱ	夏期集中	2	2~4	辻　正次	
51795	特別テーマ講義（国際）A	春学期	2	2~4	吉本　佳生	
51797	特別テーマ講義（国際）B	春学期	2	2~4	吉本　佳生	
51801	西洋経済史A		2	2~4		本年度不開講
51803	西洋経済史B	秋学期	2	2~4	櫻井　健吾	
51805	日本経済史Ⅰ	春学期	2	2~4	川﨑　勝	
51807	日本経済史Ⅱ	秋学期	2	2~4	川﨑　勝	
51811	経済思想史Ⅰ	春学期	2	2~4	橋本　昭一	
51813	経済思想史Ⅱ	夏期集中	2	2~4	橋本　昭一	
51815	経済倫理学Ⅰ	春学期	2	2~4	橋本　昭一	
51817	経済倫理学Ⅱ	夏期集中	2	2~4	橋本　昭一	
51821	経済体制論Ⅰ	夏期集中	2	2~4	福田　敏浩	
51823	経済体制論Ⅱ	夏期集中	2	2~4	福田　敏浩	
51825	経済学史Ⅰ		2	2~4		本年度不開講
51827	経済学史Ⅱ		2	2~4		本年度不開講
51831	消費社会論Ⅰ	春学期	2	2~4	阪本　俊生	
51833	消費社会論Ⅱ	秋学期	2	2~4	阪本　俊生	
51835	特別テーマ講義（歴史と思想）A		2	2~4		本年度不開講
51837	特別テーマ講義（歴史と思想）B		2	2~4		本年度不開講
51839	会計原理Ⅰ	春学期	2	1~4	飯田　穆	
51840	会計原理Ⅱ	秋学期	2	1~4	飯田　穆	
71462	経営学総論A（全、営2年以上）	春学期	2	2~4	小橋　勉	
71467	経営学総論B（全、営2年以上）	秋学期	2	2~4	小橋　勉	
71601	経営組織論A	春学期	2	2~4	安藤　史江	
71603	経営組織論B	秋学期	2	2~4	安藤　史江	
71635	企業論A	春学期	2	2~4	後藤　剛史	
71637	企業論B	秋学期	2	2~4	後藤　剛史	
71546	経営財務論A	春学期	2	2~4	徳永　俊史	
71548	経営財務論B	秋学期	2	2~4	徳永　俊史	
71551	マーケティング論A	春学期	2	2~4	中田　善啓	

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
71553	マーケティング論B	秋学期	2	2~4	中田 善啓	
71631	経営史A		2	2~4		本年度不開講
71633	経営史B		2	2~4		本年度不開講
71541	経営労務論A	春学期	2	2~4	高橋 弘司	
71543	経営労務論B	秋学期	2	2~4	高橋 弘司	
71791	現代産業論（総合商社論）	春学期	2	2~4	松井 清治	
71792	現代産業論（総合商社論）	秋学期	2	2~4	松井 清治	
71794	現代産業論（都市銀行論）	春学期	2	2~4	高木 夏樹	
71795	現代産業論（都市銀行論）	秋学期	2	2~4	高木 夏樹	
71797	現代産業論（損害保険論）	春学期	2	2~4	清登 緑郎	
71798	現代産業論（損害保険論）	秋学期	2	2~4	清登 緑郎	
71800	現代産業論（電子･電機産業論）	春学期	2	2~4	三田 良治	
71801	現代産業論（電子･電機産業論）	秋学期	2	2~4	三田 良治	
71803	現代産業論（自動車産業論）	春学期	2	2~4	願興寺 腊之	
71804	現代産業論（自動車産業論）	秋学期	2	2~4	願興寺 腊之	
51841	民法Ⅰ	春学期	2	2~4	松倉 耕作	
51845	民法Ⅱ	秋学期	2	2~4	松倉 耕作	
51851	商法Ⅰ	春学期	2	2~4	田中 裕明	
51855	商法Ⅱ	秋学期	2	2~4	田中 裕明	
51861	経済法Ⅰ	春学期	2	3･4	田中 裕明	
51865	経済法Ⅱ	秋学期	2	3･4	田中 裕明	
51871	労働法Ⅰ	春学期	2	3･4	唐津 博	
51875	労働法Ⅱ	秋学期	2	3･4	唐津 博	
51881	行政法Ⅰ	春学期	2	3･4	栗本 雅和	
51885	行政法Ⅱ	秋学期	2	3･4	栗本 雅和	
51891	職業指導A		2	3･4		99生以前は経営労務論Aで充当
51895	職業指導B		2	3･4		99生以前は経営労務論Bで充当

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
95～99年度に入学した学生対象の必修科目						
51901	経済入門Ⅰ 1	秋学期	2	3･4	上田　薫	
51902	経済入門Ⅰ 2	春学期	2	3･4	吉本　佳生	
51911	経済入門Ⅱ 1	秋学期	2	3･4	上田　薫	
51912	経済入門Ⅱ 2	春学期	2	3･4	吉本　佳生	

経　済　学　部

【経済学部経済学科講義概要を見る時の注意事項】

講義概要を見る前に必ず読んで下さい。

＊1999年度以前入学の学生は科目名称が前年度までと変更になっているものがあるので、
新旧カリキュラム対照表をよく見ること。

この欄に「新」と「旧」の両方の表記がある場合は、「新」は2000年度以降入学の学生対象の指定年次を意味し、「旧」は1999年度以前入学の学生対象の指定年次を意味する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51411	経済史入門Ａ	新:選必 旧:選	春学期	2	新:1~4 旧:2~4	櫻井　健吾
他の科目との関連					他学科履修	不可

この欄に「新」と「旧」の両方の表記がある場合は、「新」は2000年度以降入学の学生対象の科目分類を意味し、「旧」は1999年度以前入学の学生対象の科目分類を意味する。
略語の正式名称は以下の通り。

必　→　必修科目
選必　→　選択必修科目
選　→　選択科目

経済学部

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51101	ミクロ経済学	必	春学期	4	新:1 旧:2	水谷　重秋
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　ミクロ経済学入門

【講義内容】　個別経済主体の合理的経済行動を基にした価格機構の働きを説明する。

【講義計画】　次の話題をそれぞれ１回の講義で説明していく。
（１）ミクロ経済学の論理と方法　（２）市場機構と需要・供給　（３）消費者と需要
（４）消費者行動と需要曲線　（５）消費者需要理論の応用と拡張　（６）企業行動と生産関数
（７）企業行動と費用曲線　（８）企業の長期費用曲線と市場の長期供給曲線
（９）完全競争市場と効率性　(10) 不完全競争市場　(11) 生産要素市場　(12) 市場機構の限界

【評価方法】　期末試験、中間試験、小テストの結果を総合的に評価する。

【テキスト】　西村和雄『ミクロ経済学』岩波書店、1996年。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51102	ミクロ経済学	必	春学期	4	新:1 旧:2	井上　知子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　以下に挙げる項目の基礎的考え方を身につける。
主体行動（消費者行動・生産者行動）
一般均衡
市場の失敗
完全競争と不完全競争

【講義計画】　講義は基本的に下記のテキストに沿って進める。
①経済循環
②消費の決定（消費者の効用極大化行動）
③需要関数
④消費者余剰
⑤企業と生産活動（企業の利潤極大化行動）
⑥費用構造
⑦独占
⑧複占・寡占
⑨一般均衡
⑩経済厚生

４回に１度くらいの割合で、講義時間の最後に理解度調査を兼ねた小テストを行う。しかし、事前に予告は行わない。

【評価方法】　小テスト、中間試験、および、春学期期末試験によって評価する。

【テキスト】　奥口孝二・酒井泰弘・市岡修・永谷裕昭「ミクロ経済学」有斐閣

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51111	マクロ経済学	必	秋学期	4	新:1 旧:2	荒井　好和
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　マクロ経済学の基本概念と基礎理論を講義する。

【講義計画】　今年度はマンキュー（N. Gregory Mankiw）著『マンキュー経済学』（経済学の入門書）をテキストとして使用する。本書は、「長期分析から短期分析へ」という新しいアプローチを採用した最新のテキストである。翻訳も読みやすい。本書の構成は以下の通りである。なお、受講者は授業に先立って予習してくることが望ましい。

第Ⅰ部　イントロダクション
第Ⅱ部　マクロ経済学のデータ
第Ⅲ部　長期の実物経済
第Ⅳ部　長期における貨幣と価格
第Ⅴ部　開放経済のマクロ経済学
第Ⅵ部　短期の開放経済
第Ⅶ部　おわりに

【評価方法】　２回の定期試験で評価する。（11月中旬の授業時間中に中間試験を実施する。）

【テキスト】　N. グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学　Ⅱマクロ編』東洋経済新報社 2000年

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51112	マクロ経済学	必	秋学期	4	新:1 旧:2	宮澤　和俊
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　マクロ経済学の基礎

【講義内容】　前半は、伝統的な短期マクロ分析であるところの、IS-LM 分析、総需要－総供給分析について講義する。
後半は、長期分析として、経済成長論を講義する。
また、最近のマクロ経済学の動向として、内生的成長理論、ニューケインジアンの理論を紹介する。

【講義計画】
1．国民所得の概念
2．財市場の均衡
3．貨幣市場の均衡
4．IS-LM 分析
5．労働市場の（不）均衡
6．総需要－総供給分析
7．経済成長論
8．内生的成長理論
8．ニューケインジアンの理論

【評価方法】　中間試験50点、期末試験50点。

【テキスト】　井堀　利宏「入門マクロ経済学」（新世社）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51121 ∫ 51128	データ処理入門	必	春学期 秋学期	各2	1	近藤　仁 中村　正治 吉根　勝美	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副　題】　経済データの処理とレポートの作成

【講義内容】　論文やレポート作成に役立ち文章の推敲が簡単に行える日本語ワープロの基礎を学習し、また経済の動きに関する理解を深めるため、現実の経済データを利用して平均・分散あるいは頻度・分布といった統計的データ分析の初歩的手法や成長率や指数変換といったデータの加工手法などを表計算ソフトを用いて学習する。さらにプレゼンテーションの有用な手法としてのグラフの使用法などを、パソコン統合ソフト「MS－OFFICE（WORD・EXCEL）」を用いて学習する。

【講義計画】
（1）情報化社会と情報倫理（情報化社会とデータ、情報の管理、情報倫理）
（2）パソコン入門（コンピュータ、オペレーティング・システム、Windowsシステム等）
（3）ワード入門（日本語入力・変換、レポートの書き方、書式設定等）
（4）表作成入門（表作成、表書式の変更等）
（5）経済データ入門（経済データの種類と特性）
（6）エクセル入門（ワークシート、表、計算式、組み込み関数等）
（7）データ分析入門（変化率・成長率、指数・対数変換、移動平均法等）
（8）統計分析入門（平均、分散、標準偏差、度数分布、正規分布等）
（9）グラフ入門（プレゼンテーション手法としての各種グラフ）
(10) 統合（表・グラフの文書への取り込み）
により、パソコンを用いたデータ処理方法を順次学習する。

【評価方法】　出席と4回のテーマレポート、および最終レポート提出により、総合的に評価する。

【テキスト】　必要に応じて、資料を配付する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51131 51132	経済学のための数学	必	春学期	2	1	吉本　佳生	
他の科目との関連						他学科履修	不可

【副　題】　経済学を学ぶための数学再入門

【講義内容】　インターネットを使って世界中の株や預金などでおカネの運用ができる時代になり、金融ビッグバンによって、ハイテク金融商品がつぎつぎと生まれて流行している。そんな時代だからこそ、経済社会におけるリスクは高まり、私たちはそういったリスクに“自己責任で立ち向かうことが求められている。
「数学」と「経済学」の基礎知識は、経済や金融のリスクに直面する私たちにとって、とても強力な武器となる。特に、数学は大変に役に立つ。
この講義では、数学がどのように役立つのか、その具体例を、現実の金融取引を例として提示しながら、本当に必要な数学を、実際に役に立てられるような知識として学んでもらうことを目的としている。ただし、講義の内容の大部分は、一般的な数学の説明である。その説明の前後に、それぞれの数学知識がどういった金融取引に役立つのかを示し、動機づけをしようというのが、本講座の特徴である。

【講義計画】
1．数、数式、関数、グラフ
2．指数、対数、三角関数
3．グラフと表のデータの読み方
4．微分の考え方
5．いろいろな関数の微分
6．多変数関数のグラフと微分
7．最大値・最小値の求め方
8．制約条件つきの最適化
9．連立一次方程式と行列

10. 行列を使った計算
11. 株・外貨預金・住宅ローンなどの計算に必要な数学
12. 確率的なものの考え方

【評価方法】　期末試験のみで評価する予定だが、場合によっては、レポートや小テストを課す可能性がある。

【テキスト】　テキスト及び参考文献については、初回の講義の際に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51141	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	野村　信廣
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　とにかく経済学とは何かを知る

【講義内容】　現在、世界や日本が抱えている重要な諸問題について、経済学を道具に考えていく。その過程で、新しい事実の発見に努める。

【講義計画】　テキストを各自が分担、レジュメを作成、発表、討論する。学年末に研究成果を修了論文として提出する。

【評価方法】　作業状況、発表内容、質疑応答、出席状況および学年末の修了論文等から総合的に評価する。

【テキスト】　辻正次・八田英二著「What's　経済学」（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51142	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	水谷　重秋
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　社会科学入門

【講義内容】　現代不況、財政危機、高齢者福祉・介護、地球環境、自動車公害、原子力発電、規制緩和、日本版ビッグバンなど、現代におけるさまざまな経済・社会問題のなかからいくつかの問題を学生に選ばせ、それらの原因と解決法を考えさせる。

【講義計画】　問題ごとにグループを作り、グループ単位で研究する。研究したことはゼミで順番に報告して全員で議論する。学年末には個別に修了論文を提出する。

【評価方法】　毎回のゼミにおける活動状況をみて総合的に評価する。

【テキスト】　全員に共通のテキストは用いない。ただし、日本語の作文技術と修了論文作成の技術を身につけるために、次の３冊をゼミ生必読文献とする：
（１）本多勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫、1982年）
（２）本多勝一『実践・日本語の作文技術』（朝日文庫、1994年）
（３）木下是雄『理科系の作文技術』（中公新書、1981年）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51143	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	花井　敏
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　(経済) 問題の発見、分析、解決のグループ学習

【講義内容】　たとえば、「大学進学は得か損か」、「名古屋人はケチか」、「小売店のポイント・カードは何のため？」、「ＮＨＫの受信料は高いか安いか」、「ガソリンの値段はなぜ横並びか」、といった具体的な (経済) 問題を取り上げ、こうした問題にどのように取り組み、いかにして最終的なレポートに仕上げるか、といった一連のプロセスを学びます。

【講義計画】　まず春学期では、３、４人からなるグループを作り、私が与える (比較的やさしい) 問題に対して、どのようにアプローチして最終的な成果にまで到達するかに取り組みます。秋学期では、各グループでそれぞれの問題、課題を発見してもらい、さらに、問題分析、問題解決へと進み、最後にレポートにまとめてもらいます。

【評価方法】　ゼミ出席、調査プロジェクトのできばえ、ゼミでの討論、などを総合的に評価します。

【テキスト】　特定のテキストは使いません。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51144	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	中矢　俊博
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　やさしい経済学

【講義内容】　わたしたちが住んでいる経済社会がどういう仕組みで出来ているのかを皆で検討していきたいと思います。

【講義計画】　以下の計画で演習を行います。各自は割り当てられた箇所のレジュメを作成 (問題の回答) し、皆に分かりやすく説明 (問題の解説) していきます。その後、司会者を通じて他の諸君との質疑応答 (活発に議論) に入ります。ここではわたしのゼミに集まった諸君全員が完全に理解するまで議論していくことが大切です。最後に、わたしが全体の総括をします。

【評価方法】　演習に出席することは当然のことです。その上で、レジュメの作成ならびに発表態度やレポートの提出・ゼミへの貢献度などを総合して評価します。

【テキスト】　中谷巌著『痛快！経済学』(集英社インターナショナル：1999年)
中矢俊博著『経済教育の大切さ』(近代文芸社：1999年)
細野真宏著『経済のニュースが面白いほどわかる本』(中経出版：1999年)

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51145	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	近藤　仁
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　身近な物価について考えてみよう。

【講義内容】　最近の物価の動向から、物価はどうして決まるか、なぜ日本は外国に比べてものが高いという内外価格

差問題が生じるのか、またその解消のためにはどうすればよいのか、あるいは政府の物価安定策はどのようなものか等についての問題を、ミクロ経済学とその背景にある現実経済との関係から考察する。
また、EXCELを利用して、現実のデータを分析する手法を身につける予定である。

【講義計画】 春学期を中心に、日本の物価問題を取り上げ、講義内容で述べた問題について議論することにより、現実の経済がどのように動いているのかを理解する。数名づつのグループに分け、報告分担を決める。グループで調査・研究したものを報告し、全体で議論し、各自の理解を深める。また、時事グループによる新聞記事の解説から、経済問題を認識する力を養う。
秋学期には、表計算ソフトEXCELを用いて、現実のデータを分析する基礎的手法を学習する予定である。

【評価方法】 出席は言うにおよばず、報告内容・質疑応答、レポート提出あるいは演習における役割の遂行状態と、すべての経済演習Ⅰの共通課題となっている書評・修了論文により、総合的に評価する。

【テキスト】 経済企画庁物価局編 『物価レポート'00』、経済企画協会、2000年。
コンピュータ関係については、資料を配付する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51146	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	岸 智子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副 題】 労働経済学入門

【講義内容】 雇用や働く人の賃金など、働くことに関するいくつかの問題について考える。そのような問題に対して、ミクロ経済学の理論はどのように応用できるのだろうか。下記のテキストを用いて理論と現実との対応について考える。
また、「若者の転職率は高まっているのか」「IT産業は就業機会を拡大させるのか」「非正社員はこれからも増大するのか」などといった具体的問題に対する考え方や、参考文献・資料の見つけ方を学ぶ。
・ テキスト 大竹文雄『労働経済学入門』(経済学入門シリーズ)
・ その他、テーマに応じて参考文献、資料、新聞記事などを参考にする。

【講義計画】 ・ 進め方：まず3－4人の班を構成し、報告分担を決める。毎時間、一つの班がテキストの内容に沿った報告を行い、他の班は質問する。次に、班ごとに最近の新聞記事や雑誌論文を選んで発表し、質疑応答を行う。最後に各人が関心をもつテーマについて修了論文を書く。テキストの内容は以下のようである。

第1章 労働経済学入門	第2章 労働市場を見る
第3章 労働供給とは	第4章 労働需要の決まり方
第5章 年功賃金制度	第6章 長期雇用制度
第7章 労働者のキャリアと昇進	第8章 労働組合の役割
第9章 さまざまな賃金格差	第10章 失業と労働市場

【評価方法】 出席、発表、討論への参加の積極性と修了論文で総合的に行う。

【テキスト】 大竹文雄『労働経済学入門』(経済学入門シリーズ、日本経済新聞社、1998年4月、830円＋税)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51147	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	上田 薫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】 この演習では下記のテキストを用いて、社会的相互作用に関する近年の考え方を見ていく。こうした相互作用に関する分析は人間の行動一般を考える基本としても大事だが、経済活動について考える場合にも役立つものである。経済の仕組みや動き方を知るには、家庭や企業の経済活動がどのように相互作用し、どのような結果を生んでいるのかを理解することが必要だからである。

【講義計画】　3～4人のグループに分かれて順番にテキストの内容を報告していってもらう。

【評価方法】　演習時の報告、出席、及び全てのゼミに共通に課される書評、修了レポートによって評価する。

【テキスト】　亀田達也・村田光二　「複雑さに挑む社会心理学」　有斐閣

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51148	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	林　尚志
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　日本の経済援助のあり方を探る

【講義内容】　この演習では、近年、世界各国から大きな期待を寄せられている「日本の経済援助」の現状及び問題点を理解した後、より望ましい援助のあり方を求めて建設的、具体的な改革案を探っていく。その過程で、生きた経済学を学ぼうとする意欲を高めることを目的とする。

【講義計画】　［１］春学期は下記テキストを用いて、日本が発展途上国に対して行っている経済援助活動、とりわけＯＤＡ（政府開発援助）について現状を学ぶ。３～４人の班ごとに各章を担当し、発表を行う。［２］夏期休暇中には、日本の経済援助に関する文献リストの中から、自らが興味を持ったものを一冊選び、書評を作成する。［３］秋学期は、班を再編成し、班全員の書評を出発点としながら、班別に「日本の経済援助体制の問題点および今後の改革案」をまとめて対抗討論会を行い、事前準備、討論論旨、チームワークの３点について優劣を競う。

【評価方法】　（１）発表、質問等、演習中の参加姿勢、（２）各係としてのゼミ活動への貢献、および、（３）夏休みの書評、修了論文等の提出物に基づいて評価を行う。

【テキスト】　久保田　勇夫編『Ｑ＆ＡわかりやすいＯＤＡ　新訂版』（新訂版、ぎょうせい、1998年）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51149	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	宮澤　和俊
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　経済学とは何か

【講義内容】　入門書の内容の報告、議論、および、修了論文作成を通して、経済学への理解を深める

【講義計画】　春学期前半：担当者によるミクロ経済学基礎の解説、課題提出
春学期後半：テキストの内容の報告と討論
報告担当者（個人あるいはグループ）は、報告資料（レジュメ）を作成し、報告する。
問題点や疑問点に関して、ゼミ生全員で議論する。
秋学期：テーマ別にグループを作り、調査、報告をし、修了論文を作成する。

【評価方法】　出席、課題提出は最低条件。評価は、報告、討論、修了論文等から総合的に判断する。

【テキスト】　林　敏彦「需要と供給の世界」（日本評論社）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51150	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	唐澤　幸雄
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　経済学入門

【講義内容】　経済学における基礎理論を下記のテキストを通して学ぶ。

【講義計画】
・演習参加者に報告箇所を割り当て、内容および練習問題に関するレジュメを作成、発表、討論する。
・年度末に、研究成果に関する修了論文を作成する。

【評価方法】　報告、討論、修了論文により総合的に評価する。

【テキスト】　伊藤元重『入門｜経済学』日本評論社、1988年

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51151	経済演習Ⅰ	必	通年	4	1	井上　知子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　経済学を学ぶ上で必要と思われる数学的基礎を学ぶ

【講義内容】
1．論理的思考の訓練
2．「最適化問題」を中心とした、数学的基礎の習得
3．修了論文の作成（ワープロソフトの使い方、論文の書き方（スタイル）の指導）

【講義計画】
・4月にワープロソフト（MS-ワード）の講習を行う。
・4月、5月は、論理（推論・判断）について学ぶ。この際、レジュメ作成に関する見本を提示する。
・6月以降は、ゼミ生全員が各々配布プリントの1部分を担当し、発表する。
・10月の中旬に「論文の書き方」についての指導を行う。
・12月初期に、ワープロソフト（特に、数式エディタ）の講習を行う。

【評価方法】　本人の発表、春学期期末試験、書評、および、修了論文によって評価する。

【テキスト】　西村和雄「経済数学早わかり」日本評論社
＊その他、必要に応じてこちらでプリントを用意する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51161	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	水谷　重秋
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　現代経済入門

【講義内容】　90年代不況の原因と対策を考察する。

【講義計画】　下記テキストの章ごとにグループを作り、グループ単位で学習させる。学習したことはゼミで順番に報告して全員で議論し、最終的には各グループごとに修了論文を作成する。

【評価方法】　毎回のゼミにおける活動状況をみて総合的に評価する。

【テキスト】 吉川洋『転換期の日本経済』岩波書店、1999年。「参考文献」は別途、指示する。

【そ の 他】 必読文献：本多勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫）1982年。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51162	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	櫻井　健吾
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】 市場経済を考える。

【講義内容】 市場経済の有効性と限界について、歴史的で理論的な再検討を行う。特に今年は新自由主義者ハイエクに注目する。

【テキスト】
1）ハイエク「真の個人主義と偽りの個人主義」（1946年公表）『ハイエク全集第3巻』所収
2）それ以外のテキストは未定。ちなみに昨年は次の論文・書物を読んだ。
　ケインズ「自由放任の終焉」（1926年公表）
　伊藤元重『市場の法則』
　竹中平蔵『21世紀型民富論』

【講義計画】 テキストの輪読。ゼミ生は分担箇所を発表。教室では、問題の提起、討論を中心とする。

【評価方法】 出席、発表、討論、レポート

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51163	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	村松　久良光
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】 労働経済学入門

【講義内容】 働く人々の賃金や雇用という身近でしかも関心の高い問題を扱う。そのような問題に対して、ミクロ経済学の需要・供給分析がどのように応用されるのか。
　また、日本に特有といわれている「年功賃金」や「終身雇用」、「企業別組合」など、労働に関わる雇用慣行はどのように分析されるのか。最近発展してきた「組織と人事の経済学」を取り入れ、やさしく説明している次のテキストに沿って、発表、質疑を通して理解を深めたい。
・テキスト：大竹文雄『労働経済学入門』（経済学入門シリーズ）
・その他に、テーマに応じて参考文献や資料、新聞記事などを参考にする。

【講義計画】 ・進め方：まず3、4人の班を構成する。班ごとに、下記に記したテキストの順序で内容について発表し、別の班が質問に回り、理解を深める。一巡した後は、班ごとに関心のあるテーマに関して最近の新聞記事や雑誌論文を選んで発表し、最後に個々人ごとに修了論文にまとめる。
・テキストの目次
　第1章 労働経済入門　　第2章 労働市場をみる
　第3章 労働供給とは　　第4章 労働需要の決まり方
　第5章 年功賃金制度　　第6章 長期雇用制度
　第7章 労働者のキャリアと昇進　　第8章 労働組合の役割
　第9章 様々な賃金格差　　第10章 失業と労働市場

【評価方法】 ・評価：発表・討論への参加の積極性と書評、修了論文で行う。

【テキスト】 大竹文雄『労働経済学入門』（経済学入門シリーズ、日本経済新聞社、1998年4月、830円＋税）

【テキスト】　吉川洋『転換期の日本経済』岩波書店、1999年。「参考文献」は別途、指示する。

【そ の 他】　必読文献：本多勝一『日本語の作文技術』（朝日文庫）1982年。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51162	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	櫻井　健吾
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　市場経済を考える。

【講義内容】　市場経済の有効性と限界について、歴史的で理論的な再検討を行う。特に今年は新自由主義者ハイエクに注目する。

【テキスト】
1）ハイエク「真の個人主義と偽りの個人主義」（1946年公表）『ハイエク全集第3巻』所収
2）それ以外のテキストは未定。ちなみに昨年は次の論文・書物を読んだ。
　ケインズ「自由放任の終焉」（1926年公表）
　伊藤元重『市場の法則』
　竹中平蔵『21世紀型民富論』

【講義計画】　テキストの輪読。ゼミ生は分担箇所を発表。教室では、問題の提起、討論を中心とする。

【評価方法】　出席、発表、討論、レポート

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51163	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	村松　久良光
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　労働経済学入門

【講義内容】　働く人々の賃金や雇用という身近でしかも関心の高い問題を扱う。そのような問題に対して、ミクロ経済学の需要・供給分析がどのように応用されるのか。
　また、日本に特有といわれている「年功賃金」や「終身雇用」、「企業別組合」など、労働に関わる雇用慣行はどのように分析されるのか。最近発展してきた「組織と人事の経済学」を取り入れ、やさしく説明している次のテキストに沿って、発表、質疑を通して理解を深めたい。
・テキスト：大竹文雄『労働経済学入門』（経済学入門シリーズ）
・その他に、テーマに応じて参考文献や資料、新聞記事などを参考にする。

【講義計画】　・進め方：まず3、4人の班を構成する。班ごとに、下記に記したテキストの順序で内容について発表し、別の班が質問に回り、理解を深める。一巡した後は、班ごとに関心のあるテーマに関して最近の新聞記事や雑誌論文を選んで発表し、最後に個々人ごとに修了論文にまとめる。
・テキストの目次
　第1章 労働経済入門　　　第2章 労働市場をみる
　第3章 労働供給とは　　　第4章 労働需要の決まり方
　第5章 年功賃金制度　　　第6章 長期雇用制度
　第7章 労働者のキャリアと昇進　　　第8章 労働組合の役割
　第9章 様々な賃金格差　　　第10章 失業と労働市場

【評価方法】　・評価：発表・討論への参加の積極性と書評、修了論文で行う。

【テキスト】　大竹文雄『労働経済学入門』（経済学入門シリーズ、日本経済新聞社、1998年4月、830円＋税）

科目コード	科　　目　　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51164	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	荒井　好和
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】「日本版ビッグ・バン」について考える

【講義内容】
　2001年度、「日本版ビッグ・バン」はいよいよ最終段階をむかえる。この演習では、「日本版ビッグ・バン」とは何であったのか、その狙い、影響、効果についてさまざまな観点から考える。さしあたり、新聞・雑誌等に掲載された「ビッグ・バン」に関する記事をとりあげ、それらを一つ一つ確実に理解することから始めたい。
　記事の内容を理解するためには、当然のことながら、記事にでてくる術語、金融制度などについて知らなければならない。金融に関する知識の幅を広げなければならない。その意味で、この演習では「現実」を素材にして「新しい金融の仕組み」を理解することを意図している。

【評価方法】
（1）２回無断欠席はF。
（2）成績は、毎時間の報告内容、討議への参加度、学年末に提出するレポートなどで評価する。

科目コード	科　　目　　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51165	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	山田　正次
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】日本経済の姿とこれまでの歩みについて考える。

【講義計画】
　教科書として、浅子・篠原（編）『入門・日本経済』有斐閣を使用し、グループごとの発表と討論を行う。

【評価方法】普段の報告と質疑応答、夏休み明けの書評、そして学年末のレポート等から総合的に評価する。

科目コード	科　　目　　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51166	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	大谷津　晴夫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】医療保障の経済学

【講義内容】日本の医療保障制度の現状と問題点を探る。

【講義計画】
　報告当番とコメント当番を決めて、テキストの輪読と討議を中心に進める。年度末の演習の終了時にはレポートを提出してもらう。

【評価方法】出席、発表、レポートを総合的に評価して成績をつける。

【テキスト】池上直己他『日本の医療』中公新書

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51167	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	宮澤　和俊
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　公共経済学とは何か

【講義内容】　テキストの内容の報告および議論を通して、公共経済学とは何かを学ぶ。

【講義計画】　報告担当者（個人あるいはグループ）は、報告資料（レジュメ）を作成し、報告する。
問題点や疑問点に関して、ゼミ生全員で議論する。
また、テーマを決めて、何回か討論会を行う。

【評価方法】　出席、課題提出は最低条件。評価は、報告、討論、修了論文等から総合的に判断する。

【テキスト】　奥野信宏「公共経済学」（岩波書店）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51168	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	吉根　勝美
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　IT（情報技術）を題材にして、「分かりやすい表現」を考える。

【講義内容】　「IT」という言葉ほど、最近しばしば見聞きするにもかかわらず、その意味や中身が漠然としすぎている言葉もないだろう。本講義では、「IT」に関わりのあるテーマを演習形式で学習することを通して、読みやすいレポート作成の手法、分かりやすい発表の手法を身につけることを目標とする。

【講義計画】　受講生全員に共通するテーマと各自の個別テーマを定め、それらについて受講生が交代で発表する。

【評価方法】　出席状況、小レポート（毎週）、レポート（夏休み明けと学年度末）

【テキスト】　未定

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51169	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	唐澤　幸雄
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　マクロ経済学

【講義内容】　下記のテキストを用いて、マクロ経済学の理解を深める。

【講義計画】　・演習参加者に報告箇所を割り当て、内容および練習問題に関するレジュメを作成、発表、討論する。
・年度末に、研究成果に関する修了論文を作成する。

【評価方法】　報告、討論、修了論文により総合的に評価する。

【テキスト】　N・グレゴリー・マンキュー『マクロ経済学Ⅰ（入門篇）、Ⅱ（応用篇）』足立英之・地主敏樹・中谷武・柳川隆訳、東洋経済新報社、1995年、1996年

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51170	経済演習Ⅱ	必	通年	4	2	井上　知子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　経済学を学ぶ上で必要と思われる数学的基礎を学ぶ

【講義内容】
1．論理的思考の訓練
2．「最適化問題」を中心とした、数学的基礎の習得
3．修了論文の作成（ワープロソフトの使い方、論文の書き方（スタイル）の指導）

【講義計画】
・4月、5月は、論理（推論・判断）について学ぶ。この際、レジュメ作成に関する見本を提示する。
・6月以降は、ゼミ生全員が各々配布プリントの1部分を担当し、発表する。
・10月の中旬に「論文の書き方」についての指導を行う。
・12月初旬に、ワープロソフト（特に、数式エディタ）の講習を行う。

【評価方法】　本人の発表、春学期期末試験、書評、および、修了論文によって評価する。

【テキスト】　西村和雄「経済数学早わかり」日本評論社
＊その他、必要に応じてこちらでプリントを用意する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51181	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	川﨑　勝
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　日本経済史の研究

【講義内容】
　経済学は現在の時点で生起している経済の動向を分析する学問である。経済史は、過去の時点で生起した事象を、その時点の資料にもとづいて分析するもので、経済学と歴史学の中間、あるいはその双方にまたがった学問といえる。過去の事柄＝歴史を研究することは、歴史学の手法に依拠しなければならず、それは、資料（文献、統計、文書、記録など）にもとづいて、その時代に起こった事柄を再構築することにある。そのためには、資料を正確に読みとり、それが書かれた背景を探り、何のために書かれたものか、またそれは何を意味しているのか、などについて考えていくことになる。
　経済演習Ⅲでは、まず、1850年代のはじめ、ペリー来航の前夜から、明治維新、自由民権運動を経て、日本に資本主義が確立していく時代を概観し（春学期）、ついで、その時期に書かれた資料を読み解いていく（秋学期）ことを通して、経済史（歴史）の勉強の仕方を身につけていくことを課題とする。
　それと同時に、2000年度に継続される経済演習Ⅳでの卒業論文のテーマをできるだけ早く（夏休中に）決める。

【講義計画】
1．初回に、テキストの1～2項を、報告者（3名1グループ）に割り当てる。
2．討論資料となるレジュメを配布する。資料の要約、内容の紹介、背景の解説、意義の説明を行ない、問題点を指摘して、討論する。
3．討論は、まずコメンテーター（次回の報告者3名のグループ）が、全体にわたる質問をし、報告者の問題点に考えを述べる。
4．次いで、全員で、質疑応答・討論をする（時間内に必ず1回以上の発言を義務づける）。
5．司会進行は、運営委員の指示によって進める。
6．報告者ではない学生も、毎時間レジュメを用意して、討論での問題点をメモし、時間の最後に運営委員に提出する。レジュメの提出で出席とみなす。
7．演習は、学生生活の中心であるから、すべてに最優先され、やむを得ない場合を除き欠席は認めない。
8．演習は、学生が自主的に運営するものであるから、初回に各委員を選出し、1年間の進め方（ゼミ運営、サブゼミ、合宿、コンパ、その他）について、十分に討論してもらう。
9．卒業論文準備のため、全員参加による合宿を9月中旬と2月上旬に行なう。

【評価方法】　1．演習での報告・発言・レジュメの内容。

2．春学期・秋学期終了時に指示する課題についてのレポート。

【テキスト】 (1) 杉山伸也『明治維新とイギリス商人』〈岩波新書〉岩波書店、1994年
(2) 安藤良雄編『近代日本経済史要覧』（第２版）東京大学出版会、1979年、ほか

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51182	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	野村　信廣
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】 とにかく日本経済についてよく観察しよう

【講義内容】 日々、生起する日本経済の重要問題を考え、具体的、計量的に把握していく。その後、各自関心あるテーマ（身近な問題も大歓迎）について、どう考え（理論構成）、どう作業（統計知識と分析道具）、どうまとめる（構想力と表現力）かを勉強していく。

【講義計画】 各自が課題を決めて研究、レジュメを作成、発表、討論する。学年末に修了論文（卒業論文の中間報告に相当）を提出する。

【評価方法】 作業状況、発表内容、質疑応答、出席状況および学年末の修了論文等から総合的に評価する。

【テキスト】 新聞、雑誌記事などカレント・トピックスをベースに進める。テキストは皆さんの意見を加味してゼミ初日に決定する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51183	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	櫻井　健吾
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】 ヨーロッパ経済史

【講義内容】 以下のテキストの輪読。ゼミ生は分担箇所を発表。教室では、問題の提起、討論を中心とする。

【テキスト】 未定（ちなみに、2000年度は次の３冊を用いた）
１）春学期：ウォーラーステイン『近代経済システム（1740-1820年）：大西洋革命の時代』名古屋大学出版会、1997年
２）秋学期：川勝平太『近代はアジアの海から』NHK出版、1999年
村上泰亮『文明の多系史観：世界史再解釈の試み』中公叢書、1998年

【評価方法】 出席、発表、討論、レポート

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51184	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	花井　敏
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】 日本経済のグループ学習

【講義内容】 本ゼミナールでは、実際の経済問題に取り組みながら、日本経済に関する「問題発見」、「問題分析」、「問題解決」のテクニックをグループ学習します。

たとえば、「体育会系クラブは就職に有利か」、「銀行の給料はなぜ高いのか」、「地域振興券は効果があったか」、「ポイント・カードは何のため？」、といった具体的な（経済）問題を取り上げ、こうした問題にどのように取り組み、いかにして最終的な成果にまで到達するか、といった一連のプロセスを学びます。

【講義計画】　まず春学期では、３、４人からなるグループを作り、私が与える（比較的やさしい）問題に対して、どのようにアプローチして最終的な成果にまで到達するかにゆっくりと取り組みます。夏休みの合宿で各グループの成果を報告し合い、レポートにまとめます。
秋学期にはグループの編成替えを行ったうえで、各グループでそれぞれの問題、課題を発見してもらい、さらに、問題分析、問題解決へと進み、最後にレポートにまとめてもらいます。

【評価方法】　ゼミ出席、調査プロジェクトの成績、ゼミでの討論、などを総合的に評価します。

【テキスト】　特定のテキストは使いません。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51185	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	荒井　好和
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　金融論

【講義内容】　この演習の柱の一つは毎年秋（12月中旬）におこなわれる他大学との交換討論会である。討論会ではそれぞれの大学が自由に決めたテーマを複数用意し、それぞれの報告内容について議論がおこなわれる。
討論会に向けて、春学期ではまず、学生諸君に金融の領域で現実に何が起こっているのかを知ってもらうために、日本の金融システムの変化に関する書物・論文・資料を取り上げ、金融に対する関心を高めたい。これはいわば導入部である。ついで、やや理論的な書物を用いて、金融の諸問題を扱うための道具の修得をめざしたい。秋学期では、これらの準備のもとに討論会のためのテーマを選定し、論文に仕上げる。

【講義計画】　春学期：
今年度は、現在進行しつつある金融ビッグ・バンを糸口として日本の金融システムの特徴を理解しながら、わが国の金融行政の歴史とその評価を考えてみたい。
必要に応じてジャーナルの論文を適宜使用する。
秋学期：
夏期休暇前に討論会のためのテーマを決め、休暇中に討論に向けた準備をする。後期は４年生を交えて発表を繰り返し、レジュメ、論文を作成する。

【評価方法】　ゼミでの報告、発言、討論会のための論文作成などで評価。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51186	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	山田　正次
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　国際経済学の分野で、国際貿易の問題を検討する。

【講義計画】　テキストに従い、グループごとの発表と討議を行う。

【評価方法】　普段の報告と質疑応答、そして学年末のレポート等から総合評価する。

【テキスト】　未定

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51187	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	中矢　俊博
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　ケインズ経済学入門

【講義内容】　諸君らは当然認識しているでしょうが、われわれの住んでいる社会は資本主義社会であって、共産主義社会ではありません。ですから、自己責任の原則に基づく自由競争市場経済が原則となっています。ところが、政府の役割（安全な社会の建設、社会福祉の充実、法制度の整備等々）が非常に期待されている社会もあります。政府の「やるべきこと」をはっきりと認識し、理論づけ、政策提言を行なった人が、わたしの関心をつよく引いているケインズという経済学者です。このゼミでは、ケインズの行った仕事を様々な角度から分析していこうと考えています。

【講義計画】　以下の計画で演習を行います。
春学期では下記のテキスト『ケインズ経済学入門』を用いて、彼の思想やその思想を形成するのに力を及ぼした環境について研究します。また、夏期合宿では、このところ毎年、諸君等が知っていなければならない経済常識について、ゼミ生どうしで確認する作業を行っています（来年は、私が作った本も読んでみようと考えています）。そして、秋学期ではそれらの知識をもとにして、ケインズの主著『一般理論』を検討していく予定です。

【評価方法】　レジュメの作成ならびに発表態度やレポートの提出・ゼミへの貢献度などを総合して評価します。

【テキスト】　ブローグ著・中矢訳『ケインズ経済学入門』（東洋経済新報社）
朝香豊著『経済のことがよくわかる事典』（西東社）
中矢俊博著『経済教育の大切さ』（近代文芸社）
ケインズ著・塩野谷訳『雇用・利子および貨幣の一般理論』（東洋経済新報社）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51188	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	近藤　仁
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　計量経済分析の基礎と実証的研究

【講義内容】　現実のデータを基礎に経済的な仮説を検証する手法を研究すること、およびコンピュータを用いて実証的に分析することが計量経済学の学問領域である。計量経済学の手法は、経済予測、経済構造の比較、政策提言などによく利用され、「経済白書」の分析にも多用されている。演習では、春学期に計量モデルの特性や経済データの基礎、および計量経済分析の基礎的理論を修得し、秋学期には計量経済分析用コンピュータ・ソフトウエア「TSP(Time Series Processor)」を利用した小グループによる実証分析を通して、分析結果の評価方法や実際の分析において生じる問題の解決方法を学習する。

【講義計画】
（１）経済データ種類と特性およびデータの加工
（２）計量経済モデル
（３）最小二乗推定法
　・最小二乗推定量とその統計的特性
　・推定結果の評価（説明力、有意性検定、自己相関の有無等）
（４）推定手法の拡張
　・多重共線性・ダミー変数・構造変化
　・一般化最小二乗法の利用、
　・予測とシミュレーション
等について、発表と質疑応答の形式により学習する。
　また、グループによる実証研究は授業と並列して行うことになり、その研究成果は『南山学生論集』へ投稿する。

【評価方法】　出席は言うにおよばず、実証研究における貢献度と試験で総合的に評価する。

【テキスト】　白砂　堤津耶　『初歩からの計量経済学』、日本評論社、1998年。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51189	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	大谷津　晴夫
他の科目との関連	社会保障論A・B、公共経済学Ⅰ・Ⅱ、労働経済学Ⅰ・Ⅱ、社会保障法、労働法、財政学Ⅰ・Ⅱ				他学科履修	不可

【副　題】　日本の年金制度改革

【講義内容】　日本の年金制度の現状と問題点を探る。

【講義計画】　報告当番とコメント当番を決めて、討議を中心に進める。年度末には終了論文を提出してもらう。

【評価方法】　出席、発表、レポートを総合的に評価して成績をつける。

【テキスト】　社会保険研究所『21世紀の年金を「構築」する』（平成11年版年金白書）
堀勝洋『年金制度の再構築』東洋経済新報社、1997年

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51190	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	岸　智子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　仕事の経済学ー情報化に伴う働き方の変化

【講義内容】　経済の情報化によって、人々の働き方がどのように変わっていくのかを考える。若年層の雇用情勢、パート・アルバイトなど非典型労働者の増加、女性や高齢者の就業、賃金体系の推移など、最近の問題をテーマにとりあげる予定である。演習では、統計解析に関する実践的な知識を身につけた上で、雇用や賃金に関するデータを分析し、修了論文にまとめていく。

【講義計画】
・春学期は、仕事の経済学に関連したデータの収集と統計解析の方法を学ぶ。秋学期は、各自のテーマを設定し、修了論文を作成する。
・4年生の卒業論文のテーマには、海外のある国の労働事情を調べ、日本との比較分析を行うことを勧める。
・ゼミ生は「労働経済学Ⅰ、Ⅱ」を受講すること。

【評価方法】
・ゼミへの参加と発表、レポートの提出、修了論文で行う。
・ゼミに連続して欠席した場合には単位を与えない。

【テキスト】　『J棟利用の手引き』
古郡鞆子・岸智子・玄田有史　『労働市場の明と暗』（統計研究会、2000年、非市販）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51191	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	阪本　俊生
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　消費レギュラシオン理論を考える

【講義内容】 消費社会における諸現象を考察するための基礎的な理論を学習する。ボードリヤールの社会学理論およびレギュラシオン理論の基礎文献を読むことで、社会学的な視角から経済現象をとらえるやり方を学ぶ。この学習を通じて、抽象的で理論的な著作の読解を練習するとともに、流行や広告、大量消費、操作された欲望など消費社会における諸現象を探求し、明らかにするための視座の習得を目指す。

【講義計画】 4名から5名の小グループにわけ、グループ毎にテキストに関する発表を毎回行なってもらう。
レポートは年に4回提出。春学期は、理論的な文献の読解を集中して行ない、秋学期は、各自の関心に応じて文献をわりふり、それぞれ発表して討議する。

【評価方法】 出席、報告、研究レポートから評価する。

【テキスト】 J.ボードリヤール『消費社会の神話と構造』、紀伊国屋書店

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51192	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	上田　薫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】 公共問題の経済分析

【講義内容】 公共問題の幾つかを取り上げ、これらを論じるための経済学の基本を学ぶ。

【講義計画】 具体的にどのような問題を取り上げるかはゼミ募集の際に説明する（社会保障制度、環境、食料問題、消費社会論などを予定している）。2～3人のグループに分かれてこうした問題のいずれかを選び、指定された文献のレポートをしてもらう。秋からは、各自が興味を抱いたテーマを選び、修了レポートを作成してもらう。

【評価方法】 グループによるレポート及び修了レポートによって評価する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51193	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	加藤　尚史
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】 応用経済学

【講義内容】 都市や地域、環境にかかわる問題を取り上げて、経済分析を加える。演習Ⅲにおいては、方法論を学ぶ。特に計量的な手法の習得を目指す。演習Ⅳでは、課題を選択したうえで研究を進め、卒業論文として成果をまとめる。

【講義計画】 テキストの内容に関して、担当者が報告し、全員で議論することにしたい。

【評価方法】 演習への参加の状況などによって評価する。

【テキスト】 以下の文献のうちの「いくつか」を利用する「予定である」。
Robert S. Pindyck and Daniel L. Rubinfeld (1998). *Econometric Models and Economic Forecasts* (4nd ed.), Irwin/McGraw-Hill.
Thad W. Mirer（1995）. *Economic Statistics and Econometrics*（3rd ed.）, Prentice-Hall, Inc..
蓑谷千凰彦・平田英明・斎藤崇・大津泰介（1997）. 『パソコンによる数量分析』多賀出版.
縄田和満（1997）. 『TSPによる計量経済分析入門』朝倉書店.
中村良平・田渕隆俊（1996）. 『都市と地域の経済学』有斐閣.
植田和弘・岡敏弘・新澤秀則〔編〕(1997). 『環境政策の経済学』日本評論社.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51194	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	林　尚志
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　東アジア経済の“奇跡”と“危機”の真相を探る

【講義内容】　近年、韓国、タイ、マレーシア等をはじめとする東アジア諸国は日本との経済関係を深めながら「東アジアの奇跡」と呼ばれるめざましい経済発展を遂げたが、1997年7月にタイで発生した通貨危機を発端とする「アジア通貨・経済危機」を経験し、現在、これらの国々は危機からの再生に向けてさまざまな取り組みを行っている。

この演習Ⅲでは、「開発経済学」において議論されている種々のトピックを学びながら、（1）東アジア諸国は“奇跡”と“危機”の両者の経験を通じて一体何を学んだのか、（2）危機からの再生に向けて現在どのような取り組みを行っているのか、（3）21世紀に向けて一層の発展を遂げる上で、どのような課題を乗り超える必要があるのか、等の疑問を探る。

【講義計画】　（0）事前レポート：　NHK市民大学での著者の講義をまとめた渡辺（1989）を読み、東アジア経済が発展を遂げる上での背景、並びに発展の基本的なメカニズムを理解する。
（1）基礎編：　大野・桜井（1997）を読み、開発経済学で議論されている種々のトピックを学びながら、近年遂げられてきた“東アジアの奇跡”がもつさまざまな側面をとらえる。
（2）応用編：　諸文献、新聞、雑誌等を活用し、アジア経済に関して各自が興味のあるトピックをより深く学んでいく。　グループ研究や班内・全体討論会を通じて、活発な議論が行われることを目指す。

【評価方法】　（1）出席を重視し、（2）発表、質問等、演習への参加姿勢、（3）適宜行われる小テスト、ならびに、（4）各係としてのゼミ活動への貢献度に基づいて評価を行う。

【テキスト】　（1）渡辺利夫著、「アジア経済をどう捉えるか」　NHKブックス568、日本放送出版協会、1989年、800円。
（2）大野健一、桜井宏二郎箸、「東アジアの開発経済学」　有斐閣アルマ、有斐閣、1997年、2000円。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51195	経済演習Ⅲ	必	通年	4	3	吉根　勝美
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　IT（情報技術）

【講義内容】　「IT」という言葉ほど、最近しばしば見聞きするにもかかわらず、その意味や中身が漠然としすぎている言葉もないだろう。本講義では、演習形式の授業を通して、受講生各人が「IT」に対する考え方や態度を確立することを目標とする。

【講義計画】　受講生全員に共通するテーマと各自の個別テーマを定め、それらについて受講生が交代で発表する。

【評価方法】　出席状況、小レポート（毎週）、レポート（夏休み明けと学年度末）

【テキスト】　未定

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51201	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	川﨑　勝
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　題】　日本経済史の研究

【講義内容】　春学期は、演習Ⅲの継続として、明治前期の歴史の主要なテーマについて、テキストを読んでいく。同時に、適宜、卒業論文のテーマについて中間報告を求め、論文作成の指導を行う。
秋学期は、卒業論文のテーマの報告を中心とし、あわせて自由課題について討議研究する。

【評価方法】　演習での報告・発言・レジュメの内容、指示する課題のレポート、卒業論文、出席状況を総合的に評価する。

【テキスト】　安藤良雄編『近代日本経済史要覧』（第２版）東京大学出版会、1979年、ほか

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51202	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	野村　信廣
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　題】　経済統計を利用して日本と世界の経済を理解する

【講義内容】　各自の強い関心のあるテーマに関して、経済統計をツールにして卒業論文を指導、完成させていく。

【講義計画】　各自の研究作業結果の発表を基礎に、全員で討議する。各自はその結果を参考に研究作業を深めていくと同時に、討議に参加することで、仲間の関心事や経済の重要課題に関する知識を広めていく。

【評価方法】　作業状況、発表内容、質疑応答、出席状況および卒業論文の成果等を勘案し、総合的に評価する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51203	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	水谷　重秋
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　題】　経済政策論

【講義内容】　卒業論文作成の個別指導：毎週のゼミの時間と個別面談を通じて各自の卒業論文を完成させる。

【講義計画】　毎週２人ずつ卒業論文の経過を報告し、ゼミ生からの質問や意見に答えつつ論文を完成させる。

【評価方法】　ゼミナールでの活動状況や卒業論文の出来具合などを見て総合的に判断する。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51204	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	櫻井　健吾
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　　題】　ヨーロッパ経済史

【講義内容】　卒論発表

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51205	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	花井　敏
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　　題】　卒論作成の指導

【講義内容】　卒業論文作成の個人指導。

【講義計画】　春学期は卒業論文のテーマ選びに充てる。
秋学期はテーマに沿った文献探索、資料集め、論文作成を指導する。

【評価方法】　卒業論文のできばえを評価。

【テキスト】　用いない。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51206	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	村松　久良光
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　　題】　仕事の経済学、各国の労働事情

【講義内容】　各自が選んだテーマについて、研究報告と共同討議を重ね、卒業論文作成の指導を行う。

【評価方法】　卒業論文

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51207	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	荒井　好和
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　　題】　金融・国際金融論

【講義内容】　各自が選んだテーマについて、研究報告と共同討議を重ね、卒業論文作成の指導を行なう。

【評価方法】　ゼミナールでの報告内容と卒業論文で評価する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51208	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	山田　正次
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る			他学科履修	不可	

【講義内容】　国際経済の分野で各自の選んだテーマに従って、順次、報告と討議を行い、卒業論文の作成を指導する。

【評価方法】　普段の発表と卒業論文等から評価する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51209	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	中矢　俊博
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る			他学科履修	不可	

【講義内容】　各自の選定したテーマに従い、卒業論文を完成させることが、本演習の課題である。

【講義計画】　毎週３人ずつ卒論の経過報告を行い、他のゼミ生からの質問等に答える。それをもとに卒論を完成していく。

【評価方法】　報告内容と卒論の出来具合で総合的に評価する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51210	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	近藤　仁
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る			他学科履修	不可	

【副　題】　計量経済分析の実際と応用

【講義内容】　３年次で学習した計量モデルの分析手法を、卒業論文で実証研究として実際に取り入れる場合の、データの収集や加工に関する問題点、モデル・ビルディングにおける問題点等について解決方法を考えるとともに、より高度な推定手法についても学習し、充実した卒業論文となるように指導する。

【講義計画】　個人の研究発表を基礎に、モデルやデータ、推定結果における問題点や解決方法について全員で討議する。その結果を受けて、実証研究における知識の充実を図るとともに、現実に対応できるように具体的なモデル推定改良手法やより高度な推定方法を学習し、卒業論文への応用について指導する。

【評価方法】　出席は言うにおよばず、研究発表と議論への参加度・貢献度で総合的に評価する。

【テキスト】　山本　拓著　『計量経済学』（新数学ライブラリ12）、新世社、1995年。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51211	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	大谷津　晴夫
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【講義内容】　春学期は特定のテキストを輪読し、秋学期は卒論の発表にあてる。

【評価方法】　出席、発表、卒論を総合的に評価して、成績をつける。

【テキスト】　未定

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51212	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	阪本　俊生
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　題】　消費社会の実態の解明

【講義内容】　経済演習Ⅲにおいて習得した理論を用いて、現代の日本における消費に関連する現象を学生各自の問題関心や視点から分析あるいは調査を行う。
その結果を卒業論文としてまとめる。

【講義計画】　春学期の前半は、卒業論文のテーマ、計画の作成、およびテーマへのアプローチの仕方や調査方法などを指導する。
春学期の後半から卒論の作成に取りかかり、各自の研究の計画発表を行う。
秋学期は、その経過報告およびその吟味と指導をおこなう。

【評価方法】　卒業論文

【テキスト】　未定

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51213	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	上田　薫
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【講義内容】　前年度に各自でまとめた研究内容をもとに、研究及び論文作成の指導を行う。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51214	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	加藤　尚史
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　題】　応用経済学

【講義内容】　演習Ⅳでは、課題を選択したうえで、演習Ⅲにおいて習得した計量的な手法を用いつつ研究を進め、卒

業論文として成果をまとめる。

【講義計画】　研究の内容に関する報告を受けて、全員で議論することにしたい。

【評価方法】　卒業論文の内容や演習への参加の状況などによって評価する。

【テキスト】　研究テーマに応じて適時選ぶこととする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51215	経済演習Ⅳ	必	通年	4	4	林　尚志
他の科目との関連	経済演習Ⅲの単位修得者に限る				他学科履修	不可

【副　　題】　開発経済学とアジアの経済発展

【講義内容】　各自が選んだテーマについて、研究および卒業論文作成の指導を行う。

【評価方法】　ゼミナールでの報告内容と卒業論文で評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51401 51402	現代経済入門	新:選必 旧:不可	春学期 秋学期	各2	1~4	野村　信廣
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　現代の日本経済の姿を海外経済と比較しつつ理解する

【講義内容】　現代の日本経済がどのような経路を辿り、現在のようなシステムを作り、そのシステムがいかに機能しているか、また、課題がどのように発生してきたかなどを学ぶ。その際、海外経済と比較しながら学ぶ。

【講義計画】　テキストの内容をまず理解することからスタートし、必要に応じて関連の資料を用意して、理解度を高める。それと同時に学生達にカレント・トピックスに関してコメントさせたり、宿題を提出させ、経済や経済学を身近なものにしてもらう。

【評価方法】　学期末の筆記テスト、平常のコメント、宿題、講義などの参加度、出席状況などを加味して総合的に評価する。

【テキスト】　橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭著「現代日本経済」(有斐閣)

【その他】　無し

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51411	経済史入門A	新:選必 旧:選	春学期	2	新:1~4 旧:2~4	櫻井　健吾
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　第1編　近代経済史研究への序説
第1章　産業革命の人類史的位置：
C.M.チボラの「人類史における二つの革命」論を中心として
第2章　概念上の諸問題：
(1) 経済成長、(2) 工業化、(3) 資本主義、(4) 産業革命

第３章　産業革命の研究史：悲観論と楽観論
第４章　W. W. ロストウの「離陸」論：
『経済成長の諸段階』(1960年、増補版1971年)
第５章　A. ガーシェンクロンの「比較後進性」の仮説：
『歴史的展望の中での比較後進性』(1962年)
第２編　人工と工業化
第１章　前工業化時代の人口（800-1800年）：
「マルサス的悪循環」の世界
第２章　工業化時代の人口（1750-1914年）：
「マルサス的悪循環」の克服と「人口爆発」
第３章　ドイツの過剰人口、窮乏化問題、工業化（1800-1850年）：
過渡期の人口と経済
第４章　ドイツの工業化、国内人口移動、都市化（1850-1914年）：
「水平的・垂直的流動性」
第５章　人口転換（1800-1980年）：
「農業的人口様式」から「工業的人口様式」へ

【評価方法】　定期試験（80点）、出席（20点）

【テキスト】　プリント、その他（未定）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51421	経済史入門B	新:選必 旧:選	秋学期	2	新:1~4 旧:2~4	川﨑　勝
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　日本における「経済社会」成立の前提

【講義内容】　日本で現在につながる「経済社会」が成立したのは江戸時代だといわれているが、それは一挙にそうなったわけではなく、それまでに十分な準備段階があった。今年度は、日本列島に展開された諸々の生業の営みを歴史的に把え、「経済社会」が成立するにいたる前提条件を考察し、「経済史」とはどういう学問かを考えることにする。

【講義計画】　原始時代から江戸時代初頭までの時期を対象とし、原始社会の多様性、日本列島と民族、漁撈・狩猟・農耕の展開、土地に密着した租税体系、商品流通と人々の移動、東アジア世界との交流などについて、経済生活を軸にして、政治・文化と関連づけながら講義する。
今年度は、尾張・三河・美濃・伊勢とその周辺の地域に関係する史料——とくに、名古屋市立博物館に展示されている有名な史料を読みながら、身近かな地域に展開された経済生活の動きを追う。

【評価方法】　学期末試験による。

【テキスト】　史料プリント

【参考文献】　網野喜彦『日本社会の歴史』上・中・下〈岩波新書・新赤版 500-502〉岩波書店、1997年、ほか。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51431	経済思想入門	新:選必 旧:選	秋学期	2	新:1~4 旧:2~4	大谷津　晴夫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　市場と貨幣の経済思想

【講義内容】　講義の主要項目は以下の通り。
１．社会の文化と市場の成立
２．市場の秩序

3．道徳経済と市場経済
4．政治と経済
5．公正と均衡
6．市場の失敗
7．市場と組織
8．非市場社会
9．市場社会と貨幣
10．コミュニケーションと貨幣
11．貨幣の経済機能
12．インフレーションとデフレーション

【評価方法】 定期試験と随時行う小テストの成績に従って評価する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51441 51442	経済統計入門	新:選必 旧:選	春学期 秋学期	各2	新:1~4 旧:2~4	荒深　美和子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】 (経済) データの分析

【講義内容】 統計学は、実際のデータを分析して、データの特徴を整理・要約したり、データが生成された元々の集団については推測する方法を学ぶ学問である。
本講義では、(経済) データに現れた特徴や各データ間の関係などを整理・要約し記述する方法 (記述統計学) を学ぶ。1年次の「データ処理入門」で学んだ表計算ソフトExcelを使って演習や宿題を行う。

【講義計画】
(1) 度数分布
(2) 代表値
(3) 平均と分散
(4) 確率
(5) 確率分布
(6) 母集団と標本
(7) 推定と検定
(8) 相関と回帰

【評価方法】 各課題のレポート、期末テスト

【テキスト】 講義時に適宜資料を配布

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51601 51611	経済英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	EASLEY Keith
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】 ECONOMIC DEVELOPMENTS IN THE WORLD

【講義内容】 A survey of developments ir major world economies (especially Japan),
Different kinds of capitalism will be identified and examined historically, and their relationship to the cultural values of particular countries will be explored a little.

【テキスト】 No set text. Video and handouts will be used.

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51602 51612	経済英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2〜4	TANNER Paul
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 This is an activity-based class in Business English. Active participation is required from all students.

The class will provide students with a basic knowldge of international business culture and give students a chance to practice the basic sentence patterns they learn in class. The course will also provide students with the necessary skills to conduct typical business activities such as negotiations, presentations and designing business strategy, etc.

This is part two of a two part course. Part one is business English Ⅰ&Ⅱ.

【講義計画】 The focus of this course will be directed on the four main areas of Business English competency : Reading, Writing, Listening and Speaking ; with special emphasis on Listening. Each business situation based video unit also introduces related vocabulary and gramar structures as part of the lesson.

Students are strongly advised to bring a dictionary, pencils and paper to class. Speaking activities will consist of pair work and group activities.

【評価方法】 Student assessment will be based on attendance, daily participation and daily quizzes. Passing grades will be : A, B, or C. Student with more than 3 unexcused absences will be withdrawn from the class.

【テキスト】 The text for the class will be Meeting Objectives-Activity Book, a video-based activity workbook. (V, Hollet, Oxford University Press, 1992)

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51603 51613	経済英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2〜4	MANSELL William
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 In this course, students will focus on basic business conversations based on actual business situations. Topics covered will be: introductions, telephoning, meetings, presentations, strategy design and negotiations. Each business situation-based video unit also introduces related vocabulary and grammar structures as part of the lesson. Speaking activities will consist of pair work. The subtopic is macroeconomics or global economic conditions.

【講義計画】 In the first semester, we'll cover introductions, telephoning, presentations and meetings for business. In the second semester we'll cover business presentations, strategy planning, company visits and negotiations. Interest rates, currency fluctuations, demand and supply, stock market valuations, banking and finance systems, import/export, foreign trade surplus and deficit and government spending.

【評価方法】 Student assessment will be based on points from daily quizzes in class, as well as homework and reading assignments. Passing grades are A+, A, B, or C. Students with more than 3 unexcused absences will be withdrawn from the course. This is an activity-based class in business English. Active participation is required from all students.

【テキスト】 The text for the class is Meeting Objectives Activity Book, a video-based activity workbook. (V. Hollett, Oxford University Press, 1992)

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51604 51614	経済英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	MUNCADA Felipe
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 This course teaches English using materials dealing with the present Japanese economic situation.Topics like Lifetime Employment System, Seniority Wage System, In-house Unions are some of the topics. Students learn English economic terms as well as basic economics in English.

【講義計画】 Students read and discuss the subject matter by groups. Group leaders then report before the class. To further challenge the students' independent thinking, students are required to write an essay about the subject matter discussed in class. Essays are corrected and handed back the next class.

The second semester uses video tapes to familiarize students on the different office situations. Students create their own dialogs and present them in class.

【評価方法】 Evaluation is based on attendance, active participation in class, assignments and final paper.

【テキスト】 Print-outs are handed at the beginning of each class.

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51621 51631	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	TANNER Paul
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 This is an activity-based class in Business English. Active participation is required from all students.

The class will provide students with a basic knowldge of international business culture and give students a chance to practice the basic sentence patterns they learn in class. The course will also provide students with the necessary skills to conduct typical business activities such as negotiations, presentations and designing business strategy, etc.

This is part two of a two part course. Part one is business English Ⅰ&Ⅱ.

【講義計画】 The focus of this will be directed on the four main areas of Business Engilsh competency : Reading, Writing, Listning and Speaking ; with special emphasis on Listening. Each business situation based video unit also introduces related vocabulary and grammar structures as part of the lesson.

Students are strongly advised to bring a dictionary, pencils and paper to class. Speaking activities will consist of pair work and group activities.

【評価方法】 Student assessment will be based on attendance, daily particiption and daily quizzes. Passing grades will be : A, B, or C. Student with more than 3 unexcused absences will be withdrawn from the class.

【テキスト】 The text for the claas will be Meeting Objectives-Activity Book, a video-based activity workbook. (V. Hollet, 0xford University Press,1992)

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51622 51632	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	EASLEY Keith
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】 BUSINESS ENGLISH

【講義内容】 The course will cover English communication skills in business situations. The focus will be on speaking

and listening practice : information exchange, making contact, meetings, business socialising, describing trends, etc.

【テキスト】 Business Objectives (Oxford University Press. New edition)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51623 51633	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	MANSELL William
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 In this course, students will focus on basic business conversations based on actual business situations. Topics covered will be: introductions, telephoning, meetings, presentations, strategy design and negotiations. Each business situation-based video unit also introduces related vocabulary and grammar structures as part of the lesson. Speaking activities will consist of pair work. The subtopic is microeconomics or company specific business conditions.

【講義計画】 In the first semester, we'll cover introductions, telephoning, presentations and meetings for business. In the second semester we'll cover business presentations, strategy planning, company visits and negotiations. Marketing, management, personnel issues, stock, bonds, sales, profit, demographics, market share and margin are among the numerous company specific subtopics we'll also explore.

【評価方法】 Student assessment will be based on points from daily quizzes in class, as well as homework and reading assignments. Passing grades are A+, A, B, or C. Students with more than 3 unexcused absences will be withdrawn from the course. This is an activity-based class in business English. Active participation is required from all students.

【テキスト】 The text for the class is Meeting Objectives Activity Book, a video-based activity workbook. (V. Hollett, Oxford University Press, 1992)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51624 51634	ビジネス英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	松井　清治
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 企業のグローバル化が益々進んでいる今日、国際的に通用するコミュニケーション能力の一つとして、語学力が挙げられる。特に英語は、国際的な情報ネットワークの発達によって、一段と世界の標準語になっている。言語は思考・行動様式・価値感など文化の特性を反映していると言われるが、特にビジネス英語の修得には、英語の知識だけでなく国際取引上の専門用語や背景にあるビジネス慣行などを理解することが必要となる。また、外国との時差に関係なく使えるコミュニケーションの手段として、ファクシミリや電子メールが普及したことにより、書くことの必要性が高まっている。

そこで本講座では、国際貿易実務の基礎知識と専門用語を学習しながら、英文ビジネス・レターの書き方を中心としたビジネス英語を修得する。

【講義計画】 春学期：Letters on Social Situations

ビジネスに伴う出張・訪問の手配、招待状、各種の礼状や挨拶状などの書き方。

秋学期：Letters on Business Situations

貿易取引の流れに従って、貿易通信文を中心にその書き方を学習する。

なお、貿易実務や国際取引の実際については、35年間の国際ビジネス経験をベースに、具体的事例を挙げて講義する。また、実際に使われたビジネス・レターや文書なども教材にする。

【評価方法】 授業への参加度、中間小テストおよび期末試験の成績による。

【テキスト】 *"BUSINESS LETTERS FOR ALL"* Oxford Univ. Press, 1998 25th impression

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51641 51651	時事英語Ⅰ・Ⅱ	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	森川　信子
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　外国語を学ぶことは、そのことばを使う人々の文化や価値観を知ることであり、それは自国の文化や現状についてより多角的な視点をもって考え直すことにつながる。本科目では、英語で書かれた新聞・雑誌に親しみ、これらを情報源のひとつとして利用できるようになることを目標に、英文記事を読み、語彙・語句の充実、英文読解力の向上を図る。

【講義計画】　春学期は、新聞の構成・表現法などの基礎的な知識を整理してから、ニュース、文化、ビジネス、社説など各種の記事を読む。秋学期は、エコノミスト、タイム、ニューズウィークなどの雑誌から、日本関連の記事を中心に取り上げる。全体を通して、構文・語彙・語句の確認を行ない、英語力の充実を図る。

【評価方法】　期末テストと、発表・提出物・出席率を含めた平常点によって、総合的に評価する。

【テキスト】　プリント使用の予定。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51661 51663	外書購読（理論と情報）A・B	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2～4	唐澤　幸雄
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　現代における経済問題

【講義内容】　下記のテキストを輪読すると共に、今日経済で生じている主要な経済問題について議論する。

【講義計画】　参加者に担当を割り当て発表した後、解説・議論を行う。

【評価方法】　出席、発表、期末試験により総合的に評価する。

【テキスト】　Mansfield, E. eds, Leading Economic Controversies of 1998,Norton, 1998.

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51665	外書講読（政策）A	新:選 旧:選必	春学期	2	2～4	水谷　重秋
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　　題】　環境経済学と政策

【講義内容】　環境問題を解決するための経済学的手法を英語文献を利用して学習する。

【講義計画】　パラグラフごとに担当者を決め、その訳を全員で検討しつつ内容の理解を深める。

【評価方法】　担当部分の発表内容と期末の筆記試験、出席状況を合わせて評価する。

【テキスト】　プリントして配布する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51666	外書講読（政策）A	新:選 旧:選必	春学期	2	2〜4	大谷津　晴夫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　国際的な視野で社会保障の問題を考える

【講義内容】　社会保障の発展に大きく貢献してきたILO（International Labour Organization）の出版物の中から社会保障に関連したものをテキストにして、国際的視野の中で社会保障の今日的課題を考えていく。
英語テキストの読解力の向上を目指すとともに、社会保障論への入門となるように講義内容を編成していく予定でいる。

【評価方法】　出席、予習、定期試験の成績を総合的に評価する。

【テキスト】　ILO,Social Security Principles, 1998

【そ の 他】　テキストは当方で用意します。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51671 51673	外書講読（国際）A・B	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2〜4	藪内　繁巳
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　英語で学ぶ国際経済学

【講義内容】　英語で書かれたやさしい経済学のテキストの中から国際経済に関するトピックスを輪読するとともに、必要に応じその内容を解説する。

【講義計画】　講義計画は概略次のとおりである。
1．貿易利益の源泉
2．交易条件
3．通商政策の理論
4．開放経済下のマクロ経済政策
5．国際収支と為替レート

【評価方法】　授業における平常点と期末試験により総合的に評価する。

【テキスト】　Lipsey-Chrystal, Positive Economics, Oxford U. P., 1995.他（プリントを用意する）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51672 51674	外書講読（国際）A・B	新:選 旧:選必	春学期 秋学期	各2	2〜4	山田　正次
他の科目との関連					他学科履修	不可

【副　題】　貿易の考え方を学ぶ。

【講義内容】　英語のやさしいテキストを輪読し、必要に応じて解説する。

【評価方法】　出席と定期試験の成績で評価する。

【テキスト】　K.Friedrich, International Economics. の貿易に関する部分をAで、現実問題に関する資料をBでとりあげる。

いずれも当方で用意する。

科目コード	科　　目　　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51681 51683	計量経済学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	近　藤　　仁
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　　題】　計量経済分析

【講義内容】　現実のデータを基礎に経済的な仮説を検証する手法を研究すること、およびコンピュータを用いて実証的に分析することが計量経済学の学問領域である。計量経済学Ⅰ（春学期）では、まず、経済データの種類や特性を理解するとともに、エクセルによるデータ加工の手法を学習する。さらに、計量モデルの特性、および基本的な計量分析手法である「最小自乗法」の理論や分析結果の評価方法を修得する。計量経済学Ⅱ（秋学期）では各自でテーマを選び、エクセル用の計量経済分析ソフトを利用して実証分析を行うとともに、実際の分析において生じる問題の解決方法を学習する。

【講義計画】　計量経済学Ⅰ

（1）経済データ種類と特性
- ・時系列データとクロスセクションデータ
- ・フローデータとストックデータ
- ・年次（暦年、年度）
- ・4半期データの特性や季節調整
- ・指数データの作成や基準年次の変更方法

（2）エクセルによるデータ分析

（3）計量経済モデル

（4）最小二乗推定法
- ・計量経済分析とその利用
- ・最小二乗推定法
- ・最小二乗推定量の統計的特性
- ・推定結果の評価（説明力、有意性検定、自己相関の有無等）

計量経済学Ⅱ

（1）エクセルによる実証研究

（2）推定手法の拡張
- ・多重共線性がみられる場合の推定
- ・ダミー変数導入の意義と注意点
- ・ラグの使用方法
- ・構造変化
- ・一般化最小二乗法の利用
- ・予測とシミュレーション

等について学習する。

【評価方法】　レポート及び実証研究報告と試験で総合的に評価する。

【テキスト】　授業開始第1回目に、指示する。

科目コード	科　　目　　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51685 51687	経済統計論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	野村　信廣
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　　題】　経済統計による日本経済の分析

【講義内容】　経済統計についてまず理解する。次に、日本経済を分析するうえでの経済統計の見方、使い方、作り方を学ぶ。さらに、経済統計による分析結果について考える。

【講義計画】　テキストの内容を理解するところから始める、必要に応じて新しい経済統計を用意して、最近の経済動向について分析する。時に、学生達を対象にアンケート調査やシミュレーション（模擬実験）を実施し、マイ・データ、マイ・アナリシスを試みる。各自が経済統計や経済分析を見近なものにしてもらう。

【評価方法】　学期末の筆記テスト、平常のアンケート、実験、宿題、講義への参加状況などを加味して総合的に評価す

る。

【テキスト】 中村隆英・新家健精・美添泰人・豊田敬著「経済統計入門」(東大出版会)

【その他】 無し

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51701 51703	データ解析Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	吉根　勝美
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 IT(情報技術)社会とはどのような社会のことをいうのかは定かでないが、電子商取引に限っていえば、さまざまな商取引データがテキストとして電子化され、そのままの形で交換されることが想定される。しかし、IT革命とまで呼ばれるからには、単に紙の書類が節約できるといった程度のことではない「何か」があるはずである。

また、与えられたデータの意味を考えるとき、考える人の主観が入るのは当然のこととしても、考えるために行う分析の手法そのものには客観性が必要である。客観性が保証されている分析手法としては、例えば統計学に基づく手法があるが、それを適用するためには、与えられたデータを適切に数値化する必要がある。

以上を背景として、本講義では、適切にデータの交換ができたり、適切にデータの分析ができたりするためには、データをどのように取り扱えばよいのかを考える。

【講義計画】 具体的には、次のテーマを取り上げる予定である。

データの視覚表現(グラフ・チャート)、統計的分析、ビジネスモデリング(線形計画法)、データ表現(XML)、データベース、データウェアハウス、その他(ITに関する話題)

【評価方法】 出席状況、小テスト(随時)、レポート(定期試験に代える)

【テキスト】 未定(必要に応じてプリントを配布する予定)。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51711	特別テーマ講義(理論と情報)A	選	秋学期	2	新:2~4 旧:3・4	上田　薫
他の科目との関連					他学科履修	可

【副題】 社会的ジレンマの経済分析

【講義内容】 一人一人の個人の合理的行動の結果として、社会全体で見れば誰も望んでいないような結果を招いているという状況は、経済・社会の様々な場面で見られる。こうした社会的ジレンマ状況を議論するための経済分析を紹介する。

【講義計画】

1. 社会的ジレンマとは何か
2. ジレンマ解決のための幾つかのアイディア
3. 互恵的利他主義
4. 公共財と社会的ジレンマ

【評価方法】 期末試験の成績で評価する。

【テキスト】 教科書は特に定めない。ただし、下記の本の第2章・第3章、またはこれに相当する(ゲームの戦略と均衡、展開形表現に関する)知識を有していることを前提とする。

梶井厚志　松井彰彦　「ミクロ経済学—戦略的アプローチ」日本評論社

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担当者
51713	特別テーマ講義（理論と情報）B	選	秋学期	2	新:2~4 旧:3·4	上 田　薫
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　社会的行動の経済分析

【講義内容】　通常の経済的利益や経済行動より広い意味での社会性をもつ行動や問題に関して、経済学がどのような分析を試みているかを、幾つかのトピックを採り上げて紹介していく。

【講義計画】
1．社会的地位と消費行動
2．労働市場と差別
3．利他的行動の経済分析

【評価方法】　期末試験の成績で評価する。

【評価方法】　教科書は特に定めない。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担当者
51725 51727	日本経済論A・B	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	花 井　敏
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　日本経済のミクロ的側面とマクロ的側面の分析

【講義内容】　日本経済論Aでは、日本経済のミクロ的な諸問題をとり上げ、経済学的アプローチによってそれらがいかに分析されるかを詳述する。
日本経済論Bでは、日本経済のマクロ的側面をとり上げ、日本経済の発展、成長、景気循環、財政、対外収支の問題などを議論する。

【講義計画】　春学期：　1．違法駐車は減らすべきか？　2．入学試験は何のため？　3．“協調の失敗”のメカニズム　4．当たる予測は外れる!?　5．差別価格の考え方　6．子育ての「機会費用」の上昇　7．食料と農業の考え方　8．リサイクルは環境に優しいか？

秋学期：　1．日本経済の発展過程　2．日本経済の成長と循環　3．消費と貯蓄　4．投資のダイナミズム　5．日本的雇用制度のゆくえ　6．財政をめぐる諸問題　7．日本経済の対外的側面

【評価方法】　春学期、秋学期ともに期末試験の得点によって評価。

【テキスト】　用いない。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担当者
51731 51733	財政学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	石田　昌夫
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　政府行動の経済分析

【講義内容】　政府の行動を、経済面から考えるのが財政学である。この授業は財政学を初めて学ぶ人を対象に、基本的に必要と考えられる内容を丁寧に分かりやすく説明しようとするものである。経済学の基礎を学んでいれば授業の理解の助けにはなるが、この授業では何らかの予備知識を求めることのない形で進めたい。

政府の行動を直接の対象とすることから、財政学は公務員試験の必修科目となっているが、その内容は、政府の支出面（国のお金を何に使うか）、収入面（必要な財源をどうするか）、および財政政策（民間部門でなく、政府にしかできないことは何か、それをどう実行するか）に分けられる。この３つの分野の要点を順次、簡明に説明していく。

授業の全体を通して、日常の経済問題のポイントを自分自身で判断できるための基礎的素材を提供したい。

【講義計画】
１．政府の存在理由
２．政府の活動範囲
３．市場の機能と市場の失敗
４．大きな政府と小さな政府
５．日本の予算制度
６．所得税
７．消費税
８．赤字財政の諸問題
９．社会保障

【評価方法】 期末試験の結果を中心にして、出席状況を若干加味する。

【テキスト】 指定しない。参考書はトピックスに応じて適宜指摘する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51735 51737	金融論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	荒井　好和
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 「金融」とは何だろう。いま試みに、「金融とは、国内・国際を問わず、おカネの動きにかかわる経済活動である」と考えてみれば、私たちの毎日の生活は、「金融」なくしては成り立たないことは自明であるといってよい。私たちが日々接する経済情報の中でとりわけ「金融」に関する情報が多いのも当然であろう。しかしながら、断片的な経済情報をただ漫然と眺めているだけでは、「金融」が、国民所得、雇用、金利、国際収支といったその他の重要な経済変数と、どこでどのようにかかわり合っているかを理解することはできない。金融とその他の経済活動との関係を捉えるためには、「理論」という道具がいる。すなわち、理論という道具を使って、金融現象が他の経済活動とどのように絡み合っているのかを明らかにしようとするのが金融論である。したがって、ミクロ・マクロ経済学の基礎知識を前提とする。

金融の分野では、実際の金融制度や金融市場の仕組みに関する知識が不可欠であるが。この講義では、そうした実際的知識と理論の提携をはかりながら、現実の金融諸問題について理解を深めることを目的としている。

【講義計画】 金融論Ⅰでは、経済活動と金融システムの関わりを概説する。金融とは何か（イントロダクション）、経済成長と金融資産の蓄積、金融機関、等について概説した後、カレント・トピックスとして、日本版ビッグ・バン、銀行の不良債権問題、アジアの通貨危機、ヨーロッパ通貨統合問題などをとりあげ、金融と経済活動との関係を解説する。

金融論Ⅱでは、理論という道具の修得をめざす。家計・企業・金融機関・中央銀行それぞれの金融行動を明示し、マクロ経済における相互の依存関係を考える。

【評価方法】 適宜おこなうレポート提出および定期試験の結果を総合的に考慮して評価する。

【テキスト】 未定。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51741 51743	労働経済学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	岸　智子
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 労働経済学は、働くことに関する実証的な学問である。就職・採用、能力開発、給与の決まり方、昇進、

転職、定年といった、職業生活で直面する具体的な問題をとりあげ、体系的に説明する。日本人の働き方に関してはさまざまな俗説があるが、客観的事実に基づいて実態を明らかにしていきたい。労働経済学の分野には、膨大なデータの蓄積があり、種々の分析方法がある。データの見方と分析のしかたを解説することによって、各人が職業生活について考える際の判断材料を提供する。

【講義計画】 基本的には下記のテキストに沿って説明し、統計資料や事例を示す。
春学期の「労働経済学Ⅰ」：
第１章　環境変化と労働市場
第２章　経済変動と労働市場
第３章　教育訓練

秋学期の「労働経済学Ⅱ」：
第４章　就職と採用
第５章　査定と昇進・定年
第６章　労使関係

【評価方法】 授業への参加熱心度、筆記の定期試験の成績。

【テキスト】 樋口美雄・中馬宏之『労働経済学』（岩波書店、1998年７月第２刷、2500円＋税）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51745 51747	公共経済学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	黒田　達朗
他の科目との関連	ミクロ経済学の基礎的知識を有することが望ましい。				他学科履修	可

【講義内容】 市場と政府には様々な長所もあるが、それぞれ大きな欠陥があることはスミス以来の学術的な考察や実際に各国で行われた社会実験を経てより明らかとなって来ている。このため現在ほとんどの国では、程度の差こそあれ市場と政府が相互に役割を分担して経済を運営する「混合経済」体制を取っている。また、経済学的な論争のほとんどは、どこまでを市場に委ね、どの程度の介入を政府に許すべきかをめぐるものといっても過言ではない。

一般にミクロ経済学の導入部では、理想的な状態における市場の機能に焦点を当てて解説をするので、本講義ではそこを出発点として、市場が機能不全に陥る「市場の失敗」の諸要因について考察したあと、それを補正・補完するための政府の役割や現実の活動範囲を解説する。さらに、「政府の失敗」が起こる要因を明らかとし、その解決策と限界を検討する。最後に、税制のあり方等を具体的な事例も参照しつつ議論するとともに、今日の我が国が直面する経済的課題への対応方針を検討したい。

【講義計画】
1．イントロダクション
2．厚生経済学の定理をめぐって
3．市場の失敗と政府の基本的役割
4．公共財の供給
5．自然独占と料金制度
6．外部性とその対策
7．政府の失敗
8．公的プロジェクトの評価
9．保険と社会保障
10．税制のあり方
11．開発利益とその還元
12．地方財政と人口移動
13．我が国の経済的諸課題

【評価方法】 各期末の試験による。

【テキスト】 なし。参考書を講義中に指示する。

【その他】 なし。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51751	産業組織論A	選	秋学期	2	新:2~4 旧:3・4	上　田　　薫
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】　企業間の競争を理解するために有用な、寡占と戦略的行動の理論を紹介する。

【講義計画】
0．独占企業と社会的余剰
1．寡占の基本的理論
　1－1　クールノー複占
　1－2　クールノー寡占と参入の効果
　1－3　ベルトランの逆説
2．企業の戦略的行動
　2－1　戦略的行動の基本的発想
　2－2　参入阻止行動
　2－3　その他の戦略的行動

【評価方法】　期末試験の成績で評価する。

【テキスト】　教科書は特に定めない。ただし、下記の本の第2章・第3章、またはこれに相当する（ゲームの戦略と均衡、展開形表現に関する）知識を有していることを前提とする。
　　梶井厚志　松井彰彦　「ミクロ経済学ー戦略的アプローチ」日本評論社

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51753	産業組織論B	選	秋学期	2	新:2~4 旧:3・4	上　田　　薫
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】　企業が価格、製品、販売促進などに関して行っている、一般にマーケティング活動と呼ばれる行動の分析に、経済理論がどのようい用いられるかを紹介する。

【講義計画】
0．独占企業と社会的余剰
1．価格設定
　1－1　価格差別の利益
　1－2　グループ別価格差別
　1－3　非線形価格
2．品質決定
　2－1　探索財と品質
　2－2　経験財と品質
3．広告活動
　3－1　広告と経済厚生
　3－2　消費の社会性と広告

【評価方法】　期末試験の成績で評価する。

【テキスト】　教科書は特に定めない。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51761	特別テーマ講義（政策）A	選	夏期集中	2	新:2~4 旧:3・4	倉澤　資成
他の科目との関連	特定科目の知識を前提とはしないが、ミクロ経済学の基礎を修得していれば、この講義の理解には大いに役立つであろう。				他学科履修	可

【副　　題】　法と法制度の経済学

【講義内容】　海外では、経済学（ミクロ経済学やゲーム理論等）を用いた法や法制度の分析がきわめて盛んである。これらはLaw and Economics（法と経済学）とかEconomic Analysis of Law（法の経済分析）と呼ばれ、法学の一分野を形成するまでに至っている。日本でも、近年になって法や法制度の研究に経済学の考え方が取り入れるようになってきた。こうした傾向は今後、一層強まるであろう。
　この講義では、法や法制度の経済分析に頻繁に使われるに経済学やゲーム理論を解説しつつ、それらがどのように法や法制度の分析に使われているかを紹介する。法と経済学の分析対象は、法律のすべての分野に及んでいるが、ここでは主として「契約法」と「不法行為法」を取り上げる予定である。
　この講義は、法律・法学の知識を提供する講義ではない。法律の専門家でない私にとって、それは不可能である。受講生は、主として経済学専攻の学生だと思われるが、これまで勉強してきた経済学が、法や法制度といった多少とも現実的な問題にも適用でき、しかもかなり有力な方法である事実を知ってもらい、それを通じて経済学のおもしろさを再認識してもらえれば十分である。

【講義計画】　最初に、ミクロ経済学の基本的な考え方、ゲーム理論（情報の経済学を含む）の基本概念を簡単に説明した後、主として不法行為と契約に関する論点を取り上げ、法学と経済学の考え方の違い、経済学やゲームの理論の有用性等を解説したい。法と経済学の分析に使われる経済学やゲーム理論では人々の合理性を前提にしているが、できればbounded rationalityの役割をも併せて考えたい。この講義の主たる目的は、「法と経済学の」の体系的な解説ではなく、法と経済学のおもしろさ、ひいては経済学のおもしろさをわかってもらうことにあるため、受講者にとってできる限り関心の深い論点を選ぶ予定である。

【評価方法】　広い意味で法や法制度に関する論点を各受講者がそれぞれの関心にしたがって選択し、それに対して経済学の思考法・分析道具を活用して独自の議論を展開するレポートを提出してもらう予定である。そのレポートを、独自性や論理整合性の観点から評価する。

【テキスト】　テキストは用いない。講義資料を配付するが、次の本が参考になるであろう。
・ポリンスキー「入門法と経済」CBS出版
法と経済学の入門テキスト。少し忍耐力があれば、おそらくだれにでも読め、理解できるだろう。ここ数年、本屋で見掛けたことはないから絶版かもしれない。
・クーター/ユーレン「法と経済学」商事法務研究会
ポリンスキーの書物よりも内容は高度だが、よくできたテキストである。高価なのが難点だが、世の中にはおカネに代えられないものもある。法と経済学に興味をもてるようになったら、購入して読んでほしい。
・小林秀之/神田秀樹「法と経済入門」弘文堂
法学者が書いた法と経済の入門書。法律、経済のいずれを勉強している人にも読める内容になっている。ただし、経済が専門の私には理解できない箇所があり、自信をもってお奨めはできない。
・浜田宏一「損害賠償の経済分析」東京大学出版会
交通事故、公害、欠陥商品などの損害賠償制度のあり方が議論される。第Ⅰ章で経済学の基本概念が解説されているから、法律を勉強している学生でも読めるだろう。「法と経済」に興味があるならば、買っておいて損はない。
・D.G.Baird, R.H.Gertner and R.C.Picker, Game Theory and the Law, Harvard University Press.
さまざまなゲームとゲーム理論の均衡概念を解説し、それを使って、法律の諸問題を分析している。
・ T.J.Miceli, Economics of the Law, Oxford University Press.
大変読みやすく、よくまとまった法と経済学のテキスト。明示的なモデルを使って説明しているので、ミクロ経済学をきちんと勉強していればクーター/ユーレンよりも遙かに分かりやすいであろう。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51765 51767	国際経済学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	山田　正次
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】　モノやサービスの輸出入、外国との資金の貸借等、国境を越える種々の経済取引を対象として、それらに固有な原因や仕組み、そしてそれらの経済効果を明らかにし、そうした国際経済取引への政府の介入についても講述する。

【講義計画】　国際貿易、貿易政策、そして国際資本移動を主要テーマとして取り上げ、以下の各章の前半を「国際経済学Ⅰ」、後半を「国際経済学Ⅱ」として、現実の経済にも触れながら講義をする。

1．比較優位の原理
2．比較優位と生産要素
3．貿易利益と交易条件
4．保護貿易政策
5．国際資本移動
6．国民所得と経常収支

【評価方法】　定期試験の結果だけで評価する。

【テキスト】　使用せず。適宜、必要な文献を紹介する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51771 51773	開発経済学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	林　尚志
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　開発への課題とアジアの開発戦略

【講義内容】　この講義では、貧困、所得分配の不平等、人口の爆発的増加など、開発途上国が直面してきた経済・社会問題を確認するとともに、それらの解決に向けた開発戦略のあり方を考察する。とりわけ、近年めざましい成長を遂げながら深刻な経済危機を経験した東アジア諸国の例から学ぶべき諸点を探っていきたい。

【講義計画】

序章　南北問題と開発経済学
　＊　南北問題の解決に向け、開発経済学が取り組んできた課題とは？

Ⅰ章　開発への課題と工業化の持つ意味
　＊　南の国々が開発を進めるにあたり、どのような課題に直面してきた？
　＊　その克服にあたり、「工業化の成功」が大きな期待を集めた背景は？
　＊　経済成長のメカニズムを理解し、工業化戦略へのヒントを探ると？

Ⅱ章　初期工業化戦略の挫折と東アジアの奇跡
　＊　初期工業化戦略は、どのように挫折したのか？
　＊　「東アジアの奇跡」は、どのようにして生まれたのか？

Ⅲ章　東アジアの奇跡を超えて
　＊　「東アジアの奇跡」から学ぶべき点、およびその限界は？
　＊　「東アジア経済危機」が生じたメカニズム、およびその教訓とは？

【評価方法】　定期試験、および小テストに基づいて評価を行う。

【テキスト】　テキストは特に定めないが、以下を主な参考文献とする予定。

（1）大野健一著、『東アジアの開発経済学』有斐閣、1997年
（2）アジア経済研究所他編、『テキストブック開発経済学』有斐閣、1997年
（3）Ray, Debraj, *Development Economics*, 1998年
（4）Todaro, M.P., *Economic Development*, 7th edition, 2000年

経済学部

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51775 51777	国際金融論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 夏期集中	各2	新:2~4 旧:3・4	吉本　佳生
他の科目 との関連					他学科 履　修	可

【副　　題】　国際金融を題材に、現実の経済問題について分析するための能力を磨きましょう。

【講義内容】　①なくならない貿易黒字・赤字、②大きく変動する為替レート、③複雑化する国際金融取引、④変革期を迎えた国際通貨制度、といったテーマについて、“現実の取引や制度”を知り、“自分で考えるのに使える基礎理論”を学び、“論理的にセンスよく考える能力”を身につけましょう。

【講義計画】
第Ⅰ部　国際経済取引の制度と現実
　1．国際収支表　2．国際貿易の決済と外国為替市場　3．自由貿易と国際通貨制度
第Ⅱ部　国際マクロ経済学の基礎
　1．マクロ経済の基礎概念　2．貯蓄－投資バランス　3．マクロ経済政策　4．資産価格の基礎理論
第Ⅲ部　為替レートの理論と現実
　1．購買力平価　2．金利平価　3．ニュースと為替レート　4．為替レート変動の影響
第Ⅳ部　国際金融取引の技術革新
　1．国際金融取引の諸類型　2．スワップのしくみ　3．オプションのしくみ
第Ⅴ部　国際通貨制度の変革
　1．EUの通貨統合　2．アジア通貨危機　3．国際通貨制度の改革

【評価方法】　期末試験のみで評価する予定ですが、それに加えてレポートを課す可能性もあります。

【テキスト】　吉本佳生／渡辺智恵著『The Economistの記事で学ぶ「国際経済」と「英語」』（日本評論社、1998年、2000円＋税）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51781 51783	国際経済政策論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	POTTER David M.
他の科目 との関連					他学科 履　修	可

【講義内容】　戦後50年にかけて世界経済が現在の世界経済に影響を受けていない国がないほど発展して成長してきた。その後この事が国と国民との間に利益が生じるか生じないか、また各国が平等に利益を受けているのかなどが議論になっている。
　この講義では、国政府と市場の関係そして、世界経済に対しての国政府の政策を中心とする国際経済政策を紹介する。

【講義計画】
主なテーマ
国際経済政策の定義、アプローチ
戦後世界経済の発展
国際貿易
国際通貨制度
多国籍会社と国家
政府開発援助
地域経済総合
アジアの経済開発政策

【評価方法】　出席と書評（のち詳しく説明する）と期末試験を総合して評価する。

【テキスト】　研究テーマに応じて適時選ぶこととする。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51791	アメリカ経済論Ⅰ	選	夏期集中	2	新:2~4 旧:3・4	辻　正次
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　アメリカ経済の仕組み

【講義内容】　アメリカ経済の特徴を日本経済との比較から明らかにする。アメリカ経済は市場取引が原則であり、短期的かつ競争的なシステムが確立されている。しかしながら、70年代の石油ショック以降、その国際競争力は著しく低下した。その原因を、日本の経済システムと比較しながら解説する。その際、情報の経済学など最近の理論的成果をも取り入れる。

【講義計画】
1．石油ショックと生産性の低下
2．レーガノミックスの功罪
3．米国の雇用システム
4．米国の企業システム
5．80年代の米国のマクロ経済

【評価方法】　試験による

【テキスト】　辻　正次『エコノミックス･イン･アクション』日本評論社、1997年
辻・西脇『ネットワーク未来』日本評論社、1997年

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51793	アメリカ経済論Ⅱ	選	夏期集中	2	新:2~4 旧:3・4	辻　正次
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　アメリカ経済の再生

【講義内容】　1990年代中頃から成長率や失業率などみた米国経済のパフォーマンスの改善は著しい。このような状況は米国が新しい経済段階に入ったという「ニューエコノミー論」の根拠となっている。さらに、経済の情報化の観点から、米国の経済の構造変化を概観し、米国経済システムが「ネットワークの経済性」と合致するものであることを明らかにする。

【講義計画】
1．構造変化からみた米国経済
2．経済の情報化とネットワークの経済性
3．米国生産性の回復の
4．事例分析1：米国自動車産業の復活
5．事例分析2：ベンチャー･ビジネス

【評価方法】　試験による

【テキスト】　辻　正次『エコノミックス･イン･アクション』日本評論社、1997年
辻・西脇『ネットワーク未来』日本評論社、1997年

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51795	特別テーマ講義（国際）A	選	春学期	2	新:2~4 旧:3・4	吉本　佳生
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　高等数学のいらない金融工学入門。

【講義内容】　外国為替レートについての通貨オプション取引を中心に、デリバティブやポートフォリオ理論について、高等数学を使わずに、基本から応用まで講義します。

【講義計画】
1．株価の予測とコンピューター
2．ポートフォリオ理論
3．預金や年金のリスク
4．オプションのしくみ
5．オプション価格の計算
6．先物とスワップ
7．ヘッジ・ファンドの収益率
8．外貨運用
9．貿易と通貨オプション

【評価方法】　期末試験のみで評価します。出席はとりません。

【テキスト】　吉本佳生著『金融工学の悪魔』（日本評論社、1999年、1500円＋税）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51797	特別テーマ講義（国際）B	選	春学期	2	新:2~4 旧:3・4	吉本　佳生
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】　The Economistの記事を読んで、国際金融のトピックスを学びましょう。

【講義内容】　ロンドンで発行されているThe Economist（英文雑誌）の記事を使って、国際的な金融問題について講義します。

【講義計画】
1．為替レートの予測
2．株式市場のバブル
3．日本の金融政策
4．アメリカの金融政策
5．ユーロとドル
6．通貨危機とIMF
7．金融工学とリスク
8．投機と投資銀行

【評価方法】　期末試験のみで評価します。出席はとりません。

【テキスト】　吉本佳生・渡辺智恵著『The Economistの記事で学ぶ「国際金融」と「英語」』（日本評論社、2000年、2000円＋税）

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51803	西洋経済史B	選	秋学期	2	新:2~4 旧:3·4	櫻井　健吾
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】 人口史を中心とした西洋経済史

【講義内容】 ドイツの人口転換、ドイツ人の海外移住、ドイツの国内人口移動を対象とする。

【評価方法】 筆記テストと出欠

【テキスト】 未定

【そ の 他】 西洋経済史Aを履修していない学生も登録可能

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51805	日本経済史Ⅰ	選	春学期	2	新:2~4 旧:3·4	川﨑　勝
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】 日本の経済社会の成立と展開

【講義内容】 日本経済史は、江戸時代からアジア・太平洋戦争までの時期を対象とし、国際的環境、とりわけ東アジア世界との関係を視野に入れながら、近代日本の経済の発展の諸条件とその構造を、政治史と関連づけながら考えることを課題とする。
日本経済史Ⅰでは、江戸時代から明治時代初期までを講義する。

【講義計画】
1．江戸時代。鎖国と国際環境、農業発展と非農業社会、商品経済の発展と工業化の展開を考察する。
2．幕末。国際的環境の変化と、開国・開港にともなう国内経済へのその影響を考える。
3．明治時代前期。明治初期の経済政策、土地制度の改変、殖産興業と官有物払下問題の意味を探る。

【評価方法】 学期末試験による。

【テキスト】 特定のテキストは使用しないが、適宜、講義で参考文献を紹介する。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51807	日本経済史Ⅱ	選	秋学期	2	新:2~4 旧:3·4	川﨑　勝
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】 日本資本主義経済の成立と展開

【講義内容】 日本経済史については、日本経済史Ⅰを参照。
日本経済史Ⅰでは、江戸時代から明治時代初期までを講義する。

【講義計画】
1．企業勃興から第一次世界大戦へ。資本の原始的蓄積、企業勃興、日清・日露戦争と戦後経営、財閥と地主制、植民地の形成。
2．第一次世界大戦からアジア・太平洋戦争へ。第一次世界大戦および世界経済の新局面と日本経済、あいつぐ恐慌、大陸侵略と戦時経済。

【評価方法】 学期末試験による。

【テキスト】　特定のテキストは使用しないが、適宜、講義で参考文献を紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51811 51813	経済思想史Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 夏期集中	各2	新:2~4 旧:3・4	橋本　昭一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副　題】　近代社会の成立期の経済思想として重商主義とイギリス古典派経済学を解説する。夏期講義では「近代経済学」の形成と展開を概述する。

【講義内容】　春学期（経済思想史Ⅰ）では、アリストテレスやトマスなど古代・中世の哲学者・神学者の経済論を紹介してから、重商主義・重農学派・アダム・スミス・リカード・J.S.ミルの流れを紹介しドイツ歴史学派やマルクスの古典派批判までを概説する。
夏期では、クルノー、チューネン、ベンサムといった限界革命の先駆者の議論の紹介から、ジェヴォンズ・メンガー・ワルラスさらにマーシャルの経済思想へつながる系譜を概説する。
ケインズ革命については簡単な紹介にとどめる。

【評価方法】　論述試験（穴埋めを含む）

【テキスト】　春学期　早坂忠『経済学史』ミネルヴァ書房
夏集中　上記の書で十分間に合うが、夏集中のみ受講の者には橋本編『近代経済学の形成と展開』昭和堂を紹介しておく。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51815 51817	経済倫理学Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 夏期集中	各2	新:2~4 旧:3・4	橋本　昭一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副　題】　経済行為と価値規範

【講義内容】　春学期（経済倫理学Ⅰ）では、人間生活の意義・人間生活の前提としての環境・自然環境と社会環境と文化環境・選択行為の基準としての価値の諸相・目的>手段関係としての選択
過剰の中の不足といった原理的問題を扱う。
夏期集中（経済倫理学Ⅱ）では、カトリック社会論の系譜を思想史的に解説する。

【講義計画】　経済倫理学Ⅰ
1　人間性格論　2　人間生活と経済　3　環境論（自然と社会と文化）　4　唯物論と観念論
5　個人主義と全体主義　6　保守主義と革新主義　7　価値と選択　8日本型システム論
9　グローバリゼーションの光と影
経済倫理学Ⅱ
1　カトリック社会論の歴史的背景　2　「レールム・ノヴァールム」(1891) 労働問題　3　「クワドラジェシモ・アンノ」(1931) 補完性原理　4　「マーテル・エト・マジストラ」世界的共通善　5　「パーチェム・イン・テリス」(1963) 世界的連帯　6　第二バチカン公会議の現代世界憲章　7　「ポプロールム・プログレッシオ」(1967) 社会的開発論　8　「ラボーレム・エクセルチェンス」民族の解放

【評価方法】　論述試験（穴埋めを含む）

【テキスト】　春学期　佐和隆光『市場主義の終焉』岩波新書
夏集中　各回勅の翻訳はカトリック中央協議会から出版されている。
全体的な解説書を夏学期迄に刊行したいと思っている。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51821	経済体制論Ⅰ	選	夏期集中	2	新:2~4 旧:3·4	福田　敏浩	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副　　題】　経済体制基礎論

【講義内容】　経済体制は国民経済の制度的フレームワークである。本講義ではそうした経済体制にかかわる基礎的事項を解説してみたい。

【講義計画】
1．経済体制とはなにか
2．経済体制の仕組み
3．経済体制の分類
4．経済体制の変動
5．経済体制の転換

【評価方法】　筆記試験と出席回数を単位認定の基準とする。

【テキスト】　福田敏浩『体制移行の経済学』、晃洋書房

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51823	経済体制論Ⅱ	選	夏期集中	2	新:2~4 旧:3·4	福田　敏浩	
他の科目との関連	経済体制論Ⅰを履修しておくことがのぞましい。					他学科履修	可

【副　　題】　世紀末の移行経済

【講義内容】　20世紀末は社会主義から資本主義への移行経済の時代である。本講義では経済体制論の角度から移行経済の展開過程を具体的に論じてみたい。

【講義計画】
1．ペレストロイカ・東欧革命・ソ連の消滅
2．社会主義から資本主義へ
3．私有化政策
4．貨幣化政策
5．移行経済の体制像

【評価方法】　筆記試験と出席回数を単位認定の基準とする。

【テキスト】　福田敏浩『体制移行の経済学』、晃洋書房

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者	
51831 51833	消費社会論Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3·4	阪本　俊生	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副　　題】　経済学以外の視点からみた経済現象

【講義内容】　経済学とは異なる視座から経済現象を考えている諸議論を紹介し、経済と社会との関わりについて幅広い視野から見ていくことを学びます。記号理論、文学社会学の理論、経済人類学の理論、人間学の理論などを通して人間の欲望、消費社会や流行について考えていきます。

【講義計画】 以下のことについて話していきます。
・見栄と欲望……衒示的消費。
・記号という点から見た経済と消費社会。
・差異化と社会階層。
・社会関係と欲望：欲望の三角関係と嫉妬、羨望そして流行。
・消費することの意味について。
・社会に埋め込まれた経済と、経済に埋め込まれた社会。
・稀少性と欲望の悪循環。
・近代社会と欲望の鎮め。

【評価方法】 出席、学期末の筆記試験。

【テキスト】 なし。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51839 51840	会計原理Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	1～4	飯田　穆
他の科目との関連					他学科履修	可

【副　題】 企業会計の理論と制度

【講義内容】 会計的測定手法の学習をとおして会計的思考方法を習得すると共に、日本における会計制度の特徴を理解することを課題とする。

【講義計画】
1．複式簿記の原理
2．会計諸規則・諸法令
3．「企業会計原則」

【評価方法】 定期テスト

【テキスト】 講義で指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51841 51845	民法Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	2～4	松倉　耕作
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】 民法は日常生活に最も密接な関連をもった法律である。民法を大別すると、財産法と家族法とに分けることができる。民法Ⅰでは財産法を対象とし、民法Ⅱでは家族法を扱います。
財産法の例をいえば、将来マンションを購入する場合に、銀行から借金をし、担保（抵当権）を設定するでしょう。このような場合の法律関係を扱います。その他に、交通事故や借地借家の問題も民法Ⅰの対象となります。
他方、家族法の例としては、離婚や親子関係、さらには相続などがこれに含まれます。これにより分かるように、全ての法律の中でも最も身近な法律といえます。

【評価方法】 原則として、春学期・秋学期ともテストの結果により評価する

【テキスト】
①嵯峨野書院『資料でみる財産法２』
②一粒社『家族法』

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51851 51855	商法Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	新:2~4 旧:3・4	田中　裕明
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】　本講義では、商法全般について講述する。総論として、商法を企業法としてとらえる立場から、商法にはどのような特色が認められるか、特に民法との相違はどのようなものであるかを、まず明らかにする。次いで以下の項目について講述する商法Ⅰでは、企業組織を、商法Ⅱでは、企業活動と企業運営を対象とする。

【講義計画】
商法Ⅰ　1　企業組織
　　　　　商人概念と会社概念
商法Ⅱ　3　企業活動と企業運営
　　　　　株式会社の特色、株式制度、株式会社の機関

講義には必ず最新版の「六法」を持参すること。

【評価方法】　春学期・秋学期の定期試験の成績で行う。

【テキスト】
商法Ⅰ：西尾幸夫・国友順市・武久征治編著『商法Ⅰ』(嵯峨野書院)
商法Ⅱ：西尾幸夫・国友順市編著『商法Ⅱ』(嵯峨野書院)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
51861 51865	経済法Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	田中　裕明
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】　経済法総論として、経済法とは何か、民・商法とはどのような関係に立つかについて言及し、経済法の位置付けを明らかにする。次に各論として独占禁止法を対象に、その三本柱とされる「私的独占の禁止」、「不当な取引制限の禁止」および「不公正な取引方法の禁止」について講述する。

【講義計画】
経済法Ⅰ
Ⅰ．総論
　経済秩序と経済法
Ⅱ．各論―独占禁止法―
　1　独占禁止法の目的と基礎概念
　2　私的独占の禁止
　3　企業結合規制
経済法Ⅱ
　4　不当な取引制限の禁止
　5　不公正な取引方法の禁止
　6　手続その他

講義には必ず最新版の「六法」を持参すること。

【評価方法】　春学期・秋学期の定期試験の成績で行う。

【テキスト】　根岸哲・杉浦市郎編『経済法』(法律文化社)

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51871 51875	労働法Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	唐津　博
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】　法学部開講科目　81214「労働法」を参照。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51881 51885	行政法Ⅰ・Ⅱ	選	春学期 秋学期	各2	3・4	栗本　雅和
他の科目との関連					他学科履修	可

【講義内容】

行政法は、憲法、民法、商法、刑法等と異なり、その基本となる法典が存在しない一方で、現在わが国で有効な1,500余の法律（国会制定法）の大半は、行政法に属する、といわれる。したがって、その内容は、バラエティーに富むが、講義の中核は、国・地方公共団体等の行政体に認められる“権力”の中身の究明とその行使方法の民主的統制の確立にある。地方行政にも関心を払い、かつできるだけ具体例の引用を心がけたい。

具体的講義内容は、下記の通りである。

〈総論〉

現代行政の特色、行政法の特色、行政法の基本原理、国と地方の行政組織、行政行為の諸問題、非権力的行政手法、行政強制、行政手続、行政救済

〈各論〉

地方自治法、公務員法、警察法、防衛法、教育法、衛生法、経済法、財政法、社会保障法、開発行政法、公害防止・環境保全法（ただし、以上のすべてに、論及しえないこともある。）

【評価方法】　筆記試験による。

【テキスト】　使用予定であるが、具体的には、開講前に指示する。
六法必携のこと（法解釈学における六法は、語学における辞書）。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51901	経済入門Ⅰ	必	秋学期	2	3・4	上田　薫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　51711「特別テーマ講義（理論と情報）A」を参照。

科目コード	科　目　名	指定	期間	単位	年次	担当者
51902	経済入門Ⅰ	必	春学期	2	3・4	吉本　佳生
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　51795「特別テーマ講義（国際）A」を参照。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51911	経済入門Ⅱ	必	秋学期	2	3・4	上 田　　薫
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　51713「特別テーマ講義（理論と情報）B」を参照。

科目コード	科　目　名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
51912	経済入門Ⅱ	必	春学期	2	3・4	吉 本　佳 生
他の科目との関連					他学科履修	不可

【講義内容】　51797「特別テーマ講義（国際）B」を参照。

※　以下の科目については、経営学部の講義概要を参照してください。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
71462	経営学総論A2（2年次以上）	選	春学期	2	2～4	小橋　勉
71467	経営学総論B2（2年次以上）	選	秋学期	2	2～4	小橋　勉
71541	経営労務論A	選	春学期	2	2～4	高橋　弘司
71543	経営労務論B	選	秋学期	2	2～4	高橋　弘司
71546	経営財務論A	選	春学期	2	2～4	徳永　俊史
71548	経営財務論B	選	秋学期	2	2～4	徳永　俊史
71551	マーケティング論A	選	春学期	2	2～4	中田　善啓
71553	マーケティング論B	選	秋学期	2	2～4	中田　善啓
71601	経営組織論A	選	春学期	2	2～4	安藤　史江
71603	経営組織論B	選	秋学期	2	2～4	安藤　史江
71635	企業論A	選	春学期	2	2～4	後藤　剛史
71637	企業論B	選	秋学期	2	2～4	後藤　剛史
71733	オペレーションズ・リサーチA	選	春学期	2	2～4	穴太　克則
71735	オペレーションズ・リサーチB	選	夏期集中	2	2～4	穴太　克則
71791	現代産業論（総合商社論）1	選	春学期	2	2～4	松井　清治
71792	現代産業論（総合商社論）2	選	秋学期	2	2～4	松井　清治
71794	現代産業論（都市銀行論）1	選	春学期	2	2～4	高木　夏樹
71795	現代産業論（都市銀行論）2	選	秋学期	2	2～4	高木　夏樹
71797	現代産業論（損害保険論）1	選	春学期	2	2～4	清登　緑郎
71798	現代産業論（損害保険論）2	選	秋学期	2	2～4	清登　緑郎
71800	現代産業論（電子·電機産業論）1	選	春学期	2	2～4	三田　良治
71801	現代産業論（電子·電機産業論）2	選	秋学期	2	2～4	三田　良治
71803	現代産業論（自動車産業論）1	選	春学期	2	2～4	願興寺　皓之
71804	現代産業論（自動車産業論）2	選	秋学期	2	2～4	願興寺　皓之